



## 取扱説明書（詳細編）

通信型2カメラドライブレコーダー

# DVR-CM01



- このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
ご使用前に、本書の「安全のために必ずお読みください」(4～7ページ)を必ずお読みください。
- お使いになる前に本書をよくお読みください。
  - お読みになった後も、本書を手元に置いてご使用ください。

# 目次

## 安全のために必ずお読みください

取り付け・接続.....	4
使用方法.....	5
内蔵電池.....	6
内蔵電池のリサイクルについて.....	6
電波について.....	6
電波に関する注意事項.....	6
ソフトウェアに関する重要なお知らせ.....	7
使用上のご注意.....	7
お読みください.....	7

## 取付方法

付属品一覧.....	8
取付手順.....	8
基本接続図.....	12
電源ボックスの設定.....	12

## 基本操作

各部の名称とはたらき.....	14
ドライブレコーダー本体.....	14
リアカメラ(別売).....	15
microSDカードの挿入と取り外し.....	15
microSDカードを挿入する.....	15
microSDカードを取り外す.....	15
電源のON / OFF.....	16
ホーム画面について.....	16
インジケータ表示について.....	16
衝撃検知通知.....	17
緊急通報.....	17
安全運転支援機能について.....	17
前方衝突検知.....	17
車線逸脱検知.....	17
一時停止見落とし検知.....	18
高速道逆走注意.....	18
走行時間通知.....	18
あおり運転検知.....	18
前方車両発進検知.....	18
速度超過検知.....	18
居眠り検知.....	18
わき見検知.....	18
携帯電話利用検知.....	18

## 録画する

録画モードについて.....	18
常時録画.....	18

手動録画.....	19
イベント録画.....	19
あおり運転録画.....	19
駐車監視録画.....	19
夜間映像鮮明化撮影について.....	20

## 再生する

ドライブレコーダー本体で再生する.....	20
常時録画の動画を再生する.....	21
手動録画の動画を再生する.....	21
イベント録画の動画を再生する.....	21
あおり運転録画の動画を再生する.....	21
駐車衝撃録画の動画を再生する.....	22
駐車モーション録画の動画を再生する.....	22
静止画を再生する.....	22
プロテクトされたファイルを再生する.....	22
バックアップメモリに保存されたファイルを再生する.....	22
バックアップメモリに保存されたファイルをSDカードにコピーする.....	22
再生の設定をする.....	22
音量を調整する.....	22
画面の明るさを調整する.....	22
ファイルをプロテクトする.....	22
ファイルのプロテクトを解除する.....	23
ファイルを削除する.....	23
ファイルを手動でサーバーにアップロードする.....	23
PC Viewerで再生する.....	23
専用モバイルアプリで再生する.....	23

## 緊急通報

緊急通報に関するご注意.....	25
緊急通報とは.....	25
緊急通報の利用について.....	25
緊急通報の使い方.....	25
自動通報の使い方.....	25
手動通報の使い方.....	26
呼び返しの着信について.....	26

## 本体の設定

基本設定.....	26
動画に音声を録音する.....	26
画面の明るさを調整する.....	27
液晶画面の節電設定を変更する.....	27
液晶画面の節電移行時間を変更する.....	27
インカメラのON / OFFを切りかえる.....	27
リアカメラ(別売)のON / OFFを切りかえる.....	27

リアカメラ(別売)の上下反転設定を 切りかえる.....	27
案内音声の音量を調整する.....	27
案内音声の方法を設定する.....	27
通話音量を調整する.....	28
録画映像への字幕記録のON / OFFを 切りかえる.....	28
お知らせ通知のON / OFFを切りかえる.....	28
GPS測位情報通知のON / OFFを切りかえる.....	28
録画設定.....	28
イベント録画の衝撃検知レベルを設定する.....	28
あおり運転録画の検知レベルを設定する.....	29
あおり運転動画を自動でサーバーにアップ ロードする.....	29
駐車監視録画を設定する.....	29
駐車位置情報をサーバーにアップロードする.....	30
運転支援設定.....	30
前方衝突検知を設定する.....	30
前方車両発進検知を設定する.....	31
車線逸脱検知を設定する.....	31
車線逸脱検知速度を設定する.....	31
一時停止見落とし検知のON / OFFを 切りかえる.....	31
高速道逆走注意のON / OFFを切りかえる.....	31
速度超過検知のON / OFFを切りかえる.....	31
走行時間通知のON / OFFを切りかえる.....	31
居眠り検知のON / OFFを切りかえる.....	32
わき見検知のON / OFFを切りかえる.....	32
携帯電話利用検知のON / OFFを切りかえる.....	32
緊急通報設定.....	32
試験通報を実施する.....	32
自動通報設定のON / OFFを切りかえる.....	32
取り付け設定.....	32
取付セットアップを行う.....	33
撮影範囲を確認する.....	33
車両タイプを設定する.....	33
ハンドル位置を設定する.....	33
顔認識位置を設定する.....	33
ドライブレコーダーの取付位置を設定する.....	33
ドライブレコーダーのレベリング(取付角度) を調整する.....	34
検出範囲を設定する.....	34
リアカメラ(別売)の取付位置を設定する.....	34
その他設定.....	34
専用モバイルアプリ「ALPINE CONNECTED VIEWER」と連携する.....	34
ソフトウェアをアップデートする.....	35
SDカードをフォーマットする.....	35
管理用パスワードを変更する.....	35

システム情報を表示する.....	35
お知らせ一覧を表示する.....	35
お問い合わせ情報を表示する.....	35
本体の設定を初期化する.....	35
全ての情報を初期化する.....	36

## 専用モバイルアプリ

専用モバイルアプリについて.....	36
スマートフォンとの接続.....	36
専用モバイルアプリの画面メニュー.....	36

## PC Viewer

PC Viewerについて.....	38
システム要件.....	38
PC Viewerのインストール.....	38
PC Viewerの画面構成.....	38




## 付録

ソフトウェアのアップデート.....	41
トラブルシューティング.....	41
こんなメッセージが表示されたら.....	41
仕様.....	43




# 安全のために必ずお読み ください

- ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## ■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## ■ お守りいただく内容の説明

 <b>強制</b>	必ず実行していただく強制の内容を示しています。
 <b>禁止</b>	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。
 <b>注意</b>	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。

## 取り付け・接続



**警告**



**強制**

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁するショートにより、火災や感電、故障の原因になります。

**取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する**

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

**配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする**

感電・ケガの原因になります。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる

ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

**説明書に従って、取り付け・配線をする**

作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。

**取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する**

取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。



**禁止**

**分解・改造をしない**

特にコードの被覆を切った他の機器の電源を取る時は、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。



**禁止**

視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けけない

事故・ケガの原因になります。

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない

制動不能・火災の原因になります。

助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしないエアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない

事故・火災の原因になります。

## **注意**



**強制**

車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける

ネジが緩み、事故・故障の原因になります。

コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないように配線する

断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する

付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。



**禁止**

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因になります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない  
火災や感電の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けけない

火災・故障の原因になります。

通風孔・放熱板をふさがない

火災・故障の原因になります。

## 使用方法

### **警告**



**強制**

ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る

事故・火災・故障の原因になります。



**禁止**

故障や異常な状態のまま使用しない

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、必ず販売店(かサービス相談窓口)にご相談ください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因になります。

運転中は操作をしたり、画面を見ない

交通事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、必ず安全な場所に停車してください。

microSDカードの差込口やその他コネクタに異物を入れない

火災・感電の原因になります。

### **注意**



**禁止**

車以外には使わない

感電・ケガの原因になります。

落下させる、たたくなどの強い衝撃を与えない

故障・火災の原因になります。

## 内蔵電池

### 危険



禁止

内蔵電池を取り外そうとしない

火災・やけど・ケガ・感電の原因になります。

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔・手・皮膚・衣類などにつけない

視力障害や皮膚に炎症などを起こす原因になります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後、ただちに医師に相談してください。

内蔵電池内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、医師に相談する

失明・体調不良の原因になります。

火の中へ投入したり、火気に近づけたり、加熱したりしない

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、漏液した電解液に引火し、破裂・発火の原因となります。

### 警告



強制

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を15cm以上離して使用する電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、ただちに使用を中止し、火気から遠ざける

発火・破裂の原因になります。

### 注意



強制

本機を落としたり使用を中止する

本機を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷しているおそれがありますので、使用を中止し、本機の点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・やけど・ケガ・感電の原因になります。



禁止

本機は内蔵電池を使用しています。一般のゴミと一緒に捨てない

火災・やけど・ケガおよび環境破壊の原因になります。

## 内蔵電池のリサイクルについて



Li-Ion 32

本機に内蔵されているリン酸鉄リチウムイオン電池はリサイクルできます。

内蔵電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。

内蔵電池の交換が必要になりましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 電波について

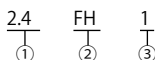
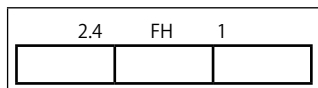
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(または受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。本機は日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

・分解/改造すること

## 電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、アルパイン・インフォメーションセンターまでご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- ・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、アルパイン・インフォメーションセンターへお問い合わせください。



- ①「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します。
- ②「FH」変調方式を表します。
- ③「1」想定される干渉距離(約10m)を表します。

## ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。

オープンソースソフトウェアの詳細に関しては、以下のWebサイトをご覧ください。

<http://opensource.alpine.com/aft/>

## 使用上のご注意

### 無理な力を加えない

●製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いします。

### お手入れは乾いた布を使う

●お手入れは乾いた布か堅く絞った布でふいてください。ベンジンやサンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

### 極端な温度では使わない

●車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

## お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルプスアルパイン株式会社の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的・機械的・録音・その他のいかなる手段によっても、コピー・検索システムの記憶・転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げ店より入手してください。
- 接続の際は、ケーブルに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 本製品を取り付けたことによる車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社はいっさいその責任を負いません。
- 本製品を使用して記録された映像は、事故などのトラブルに対して、裁判などでの証拠能力を保证するものではありません。
- 本製品はすべての状況においての映像の記録を保证するものではありません。上書き記録されることによりデータが保護されない場合があります。
- 本製品の使用によって生じたmicroSDカード上に保存されたデータ破損、車両及び人身、その他事故に関わる損害について、弊社は一切責任を負いません。
- 製品の動作を確かめるために急ブレーキなどの危険運転はおやめください。

- LEDタイプの信号機では映像がちらついたり、色の識別ができなかったりする場合があります。
- 本製品は車両の走行状態、事故時の状況を記録するための機器です。その他の目的には使用しないでください。
- 本製品の使用方法、および本製品で記録した映像、音声のデータの使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合があります。本製品およびその記録データの使用については、法令等に従って、十分にご注意ください。
- 本製品を取り付ける際は、道路交通法等の法規に従って正しく取り付けてください。
- GPSの位置情報の取得スピードは、天候やフロントガラスに貼られたフィルムなどの影響を受けます。
- フォーマットフリー採用により、microSDカードの定期的なフォーマットは必要ありません。
- microSDカードは消耗品です。各メーカーにより製品寿命は異なります。ご使用状況により寿命は短くなりますので、定期的に新品に交換することをお勧めします。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷等については、弊社は一切の責任を負いません。
- 不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## ⚠ 注意

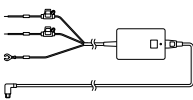

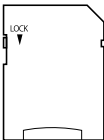
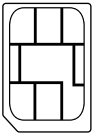
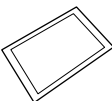
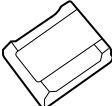
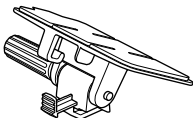
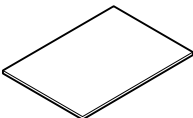
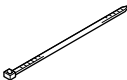
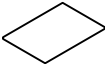
- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ALPS ALPINE CO., LTD.は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™ロゴは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。
- iPhone、macOS、App Storeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google、Androidは、Google LLCの商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

# 取付方法

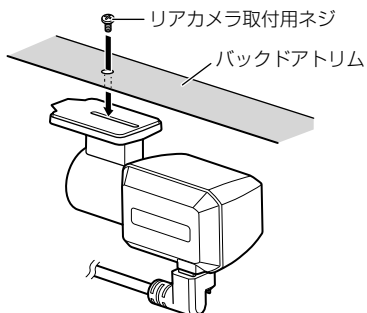
## 付属品一覧

本製品の箱を開封した際に、付属品がすべて揃っていることを確認してください。

電源ケーブル(車両ハーネス) (5m)	microSDカード (SDHC 32GB)
	
microSDカードアダプター	nano SIMカード (本体に挿入済)
	
ガラスクリーナー	ケーブルクリップ(×10)
	
取付ブラケット	電源ボックス用 クッションテープ
	
電源ボックス用 結束バンド	電源ボックス用 スイッチ保護シール
	

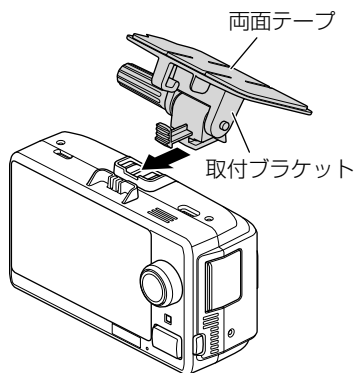
## 取付手順

- リアカメラ(別売)の取り付けについては、リアカメラに付属の取扱説明書も参照してください。
- リアカメラ(別売)をリアガラスに取り付けできない場合は、バックドアトリムに取り付けが可能です。リアカメラに付属のリアカメラ取付用ネジを使用して取り付けてください。バックドアトリムに3.5mmの穴あけ加工をし、バックドアトリムの裏側から固定してください。



- 車を安全で平坦な場所に停めてパーキングブレーキをかけ、エンジンスイッチをOFFにする
- ドライブレコーダー本体を取付ブラケットに取り付ける

取付ブラケットをスライドさせ、カチッと音がするまで押し込みます。



- 「基本接続図」(12ページ)を参照しながら、ドライブレコーダー本体と電源ケーブルを接続する

- 車両への取り付けは、訓練を受けた専門の整備士が行ってください。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- リアカメラ(別売)を取り付けない場合は、手順5に進んでください。



#### 4 「基本接続図」(12ページ)を参照しながら、ドライブレコーダー本体とリアカメラ(別売)を接続する

- ・リアカメラを接続する際は、リアカメラに付属のケーブルを使用してください。
- ・リアカメラからケーブルを引き抜く際は、ケーブルをまっすぐ引き抜いてください。

#### 5 ドライブレコーダー本体の取付位置を決める

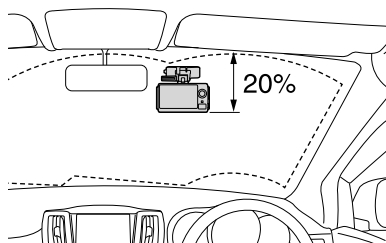
エンジンスイッチをONにすると、本機が起動しますので、画面の指示にしたがってセットアップを行います。撮影範囲確認画面でフロントカメラとインカメラ(車内カメラ)の映り具合を確認しながら取付位置を決めます。

- ・ドライブレコーダー本体は、一旦取り付けると簡単に取り外すことができません。取付位置は十分ご検討のうえ、できる限り水平に取り付けてください。
- ・フロントガラスの上部20%の範囲に取り付けてください。
- ・視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に入るように取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、雨や汚れなどが原因で鮮明に画像が撮影できないことがあります。
- ・ルームミラーと干渉しない位置に取り付けてください。
- ・車検シールと重ならないように取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・TVアンテナなどからできるだけ離してください。
- ・インカメラがルームミラーで隠れない位置(中央やや運転席側で運転者から見える位置)に取り付けてください。
- ・居眠り検知、わき見検知、携帯電話利用検知などのドライバーモニタリングシステムを使用する場合は、ドライブレコーダー本体を運転席側に取り付けてください。助手席側に取り付けると、運転者の状態が認識できず、ドライバーモニタリングシステムが正常に動作しない可能性があります。

#### ■ 撮影範囲確認画面



#### ■ ドライブレコーダー本体取付位置



#### 6 ドライブレコーダー本体の取付位置を決めたら、指で角度調整ネジを回して、取付ブラケットの角度を仮止める

角度調整ネジは、取付ブラケットが動く程度に緩めてから調整してください。

- ・角度調整ネジを緩めすぎると抜けてしまう場合があります。
- ・角度調整ネジは、マイナスドライバーを使用しても締めたり、緩めたりすることができます。



#### 7 フロントガラスの取付面をきれいにして取付ブラケットとドライブレコーダー本体を貼り付ける

付属のガラスクリーナーで取付場所の汚れや脂分をきれいに拭き取ります。汚れや脂分が残っていると、両面テープの粘着力が落ちる可能性があります。拭いた場所が乾いたことを確認してから、取付ブラケットの両面テープのフィルムをはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットとドライブレコーダー本体を貼り付けます。

- ・両面テープに空気が入らないように注意して貼り付けてください。
- ・取付向きを間違えないように貼り付けてください。
- ・ガラスの曲率によっては粘着力が低下する場合があります。
- ・ガラスの黒セラミック部に貼り付ける際には、十分に脱脂を行った後にしっかりと押し付けてください。

#### 8 ドライブレコーダー本体を取付ブラケットから一旦取り外す

## 9 取付ブラケットをフロントガラスに強く押し付けてしっかりと固定する

- ・接着強度が安定するまで時間がかかるため、しばらく放置してください。

## 10 ドライブレコーダー本体を取付ブラケットに再度取り付ける

- ・リアカメラ(別売)を取り付けない場合は、手順14に進んでください。

## 11 リアカメラ(別売)の取付位置を決める

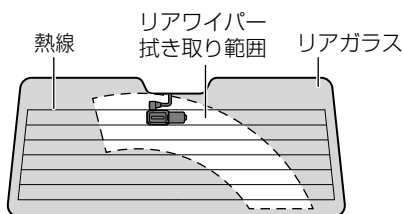
撮影範囲確認画面でリアカメラの映り具合を確認しながら取付位置を決めます。

- ・一旦取り付けたら簡単に取り外すことはできません。仮止めなどを行って、撮影範囲確認画面でリアカメラの映り具合を十分に確認してから取り付けてください。
- ・リアガラスの熱線がない場所を選んでください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に入るように取り付けてください。
- ・車両の構造上、リアカメラをリアガラスの下部に取り付ける必要がある場合、[映像反転]をタッチして映像が正しく見える向きに切りかえてください。

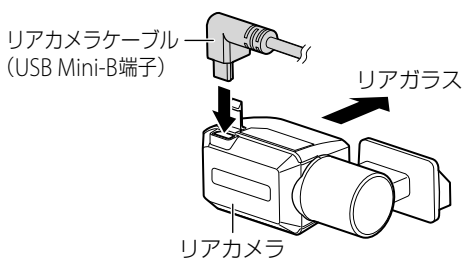
## ■ 撮影範囲確認画面(リアカメラ)



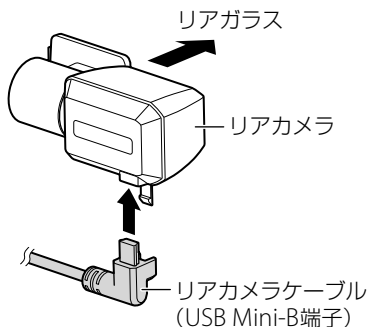
## ■ リアカメラ取付位置



## ■ リアガラス上部に取り付ける場合



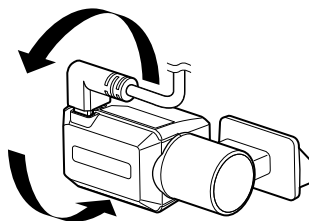
## ■ リアガラス下部に取り付ける場合



## 12 リアカメラ(別売)の取付位置を確認する

取り付け位置が決まったら、カメラレンズ側を回転させ、角度を調整します。

- ・手順14-⑦のリアカメラ取付位置の設定画面で映像を確認し、車線全体が映る位置で、地平線がガイド線より上になるように角度を調整してください。



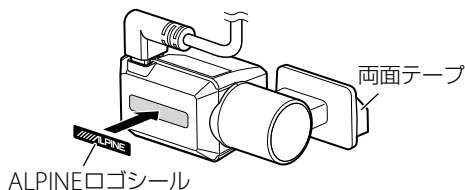
## 13 リアガラスの取付面をきれいにしてリアカメラ(別売)を貼り付ける

リアカメラに付属のガラスクリーナーで取付場所の汚れや脂分をきれいに拭き取ります。汚れや脂分が残っていると、両面テープの粘着力が落ちる可能性があります。拭いた場所が乾いたことを確認してから、リアカメラの両面テープのフィルムをはがし、リアガラスに押しつけて貼り付けます。

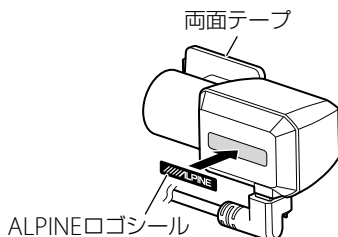
- ・両面テープに空気が入らないように注意して貼り付けてください。

- ・リアカメラの取り付け方向が決まったら、リアカメラに付属のALPINEロゴシールをシール貼り付け場所に貼り付けてください。
- ・ガラスの曲率によっては粘着力が低下する場合があります。
- ・ガラスの黒セラミック部に貼り付ける際には、十分に脱脂を行った後にしっかりと押し付けてください。

### ■ リアガラス上部に取り付ける場合



### ■ リアガラス下部に取り付ける場合



## 14 取付セットアップを行う

ドライブレコーダー本体の画面指示にしたがって、以下の取付セットアップを行ってください。

- ① 車両タイプの設定
- ② ハンドル位置の設定
- ③ ドライブレコーダー本体の取付位置の設定
- ④ レベリング(取付角度)の調整
- ⑤ 検出範囲の設定
- ⑥ 顔認識位置の設定
- ⑦ リアカメラ取付位置の設定(リアカメラ接続時のみ)

・取付セットアップの各セットアップ項目は個別に設定できます。詳しくは「取り付け設定」(32ページ)を参照してください。

## 15 試験通報を実施する

ドライブレコーダー本体のマイクとスピーカーを使って、緊急通報のテスト通話を実施し、通話音の確認を行います。画面の指示にしたがって進めてください。

・試験通報は後で実施することもできます。詳しくは「試験通報を実施する」(32ページ)を参照してください。

## 16 専用モバイルアプリ「ALPINE CONNECTED VIEWER」のインストールとアカウント登録を行う

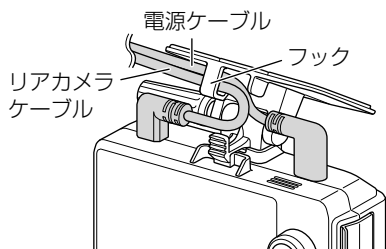
本機は専用モバイルアプリと連携することで、録画映像の再生や駐車場所の確認、本機の設定などが可能になります。Androidスマートフォンの場合はGoogle Playストア、iPhoneの場合はApp Storeで「ALPINE CONNECTED VIEWER」を検索するか、画面に表示されたQRコードから専用アプリをダウンロードしてください。アプリのインストール後は、画面の指示にしたがってアカウントの登録を行ってから、本機をアプリに登録してください。

・専用モバイルアプリのインストールとアカウント登録は後で行うこともできます。詳しくは「専用モバイルアプリ「ALPINE CONNECTED VIEWER」と連携する」(34ページ)を参照してください。

## 17 電源ケーブルとリアカメラケーブルを配線する

付属のケーブルクリップなどを使用して確実に固定してください。

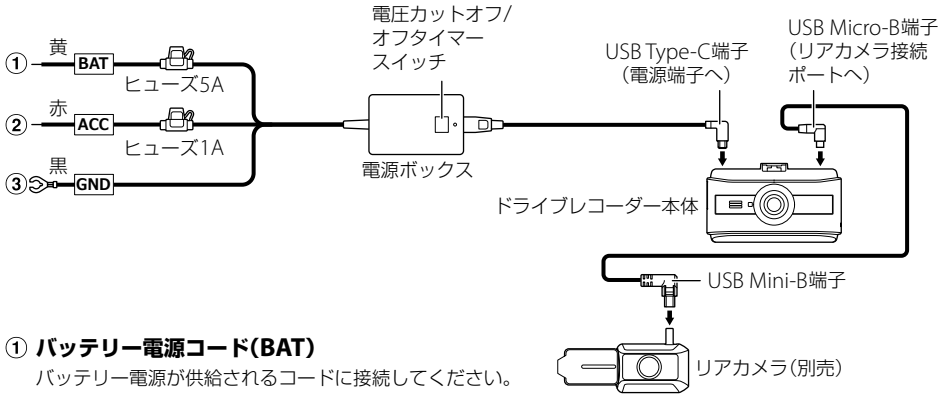
- ・ケーブルは切断したり、改造したりしないでください。本機や車両が故障するおそれがあります。
- ・ケーブルは運転手の視界を妨げたり運転を妨害したりすることがないように配線してください。
- ・ケーブルクリップはフロントガラスには貼らないでください。
- ・ケーブルクリップでケーブルが固定できないところは、市販のソフトテープなどでまとめてください。
- ・電源ケーブルが長すぎて余った場合は、グローブボックスの裏やフロアマット下の安全で邪魔にならない場所にまとめて固定してください。市販のテープ類や結束バンドなどを使用して確実に固定してください。
- ・電源ケーブルとリアカメラケーブルは、下図のように取付ブラケットのフックを使用して固定してください。



## 基本接続図

接続図にしたがって、本製品を正しく接続してください。

- 車両への取り付けは、訓練を受けた専門の整備士が行ってください。



### ① バッテリー電源コード(BAT)

バッテリー電源が供給されるコードに接続してください。

### ② ACC電源コード(ACC)

アクセサリ電源が供給されるコードに接続してください。

### ③ アースコード(GND)

車のボディの金属部分に確実に接続してください。  
不十分だと雑音や誤動作の原因になります。

## 電源ボックスの設定

付属の電源ケーブルには、電源ボックスが付いています。電源ボックスの電圧カットオフ値とオフタイマーを設定すると、設定した条件で、エンジンがOFFの状態でも電源を供給することができます。これにより、本機の駐車監視機能を使用することが可能になります。

- 設定後は、スイッチ部が不要に変更されるのを防ぐため、付属のスイッチ保護シールを貼り付けてください。スイッチ保護シールを貼った後、電源ボックスがずれたり、外れたりしないように、付属のクッションテープと結束バンドを使用して確実に固定してください。
- 車両のバッテリーの状態や使用環境により駐車監視時間は変わります。
- 電源ボックスは車両の電源を常時使用しているため、車両のバッテリーに対して負荷がかかります。長期間車に乗らない場合や短距離の運転を繰り返すと、車載機器の消費電力により徐々にバッテリー電圧が低下してしまいます。バッテリー上がりを予防するために、こまめに車のエンジンをかけてバッテリー電圧が下がらないようにしてください。
- 車両に取り付けられた他の電装品の暗電流や使用環境によってもバッテリーに負荷がかかり、バッテリー上がりを起こす原因となります。電圧カットオフ値を設定するにはご注意ください。
- 車両のバッテリー上がりについては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 電圧カットオフ値を設定する

車両のバッテリー電圧が設定したカットオフ値より下がった場合、ドライブレコーダーへの電源供給を停止します。設定したカットオフ値に下がるまではドライブレコーダーに電源が供給されます。車両のバッテリー電圧に合わせてスイッチ1、2で設定してください。

- 設定電圧値は、車両側のヒューズを通った後のバッテリーコード(黄)を接続する箇所まで測定してください。
- 使用環境や車両の状態によって、設定電圧値は多少の誤差が生じます。

スイッチ番号	1	2	1	2	1	2	1	2
ON	■	■		■	■			
OFF			■			■	■	■
12V車	12.2V		12.0V		11.8V		11.6V	
24V車	24.4V		24.0V		23.6V		23.2V	

### オフタイマーを設定する

エンジンを切った後、設定した時間電源を供給します。設定時間を超えると、ドライブレコーダーへの電源供給を停止します。オフタイマーの設定値はスイッチ3、4で設定してください。

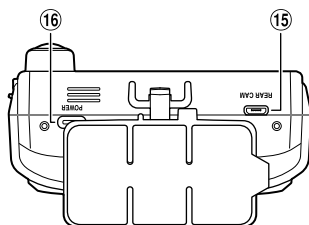
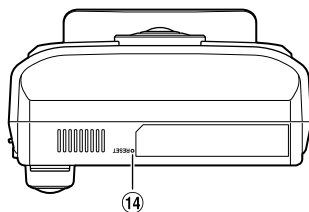
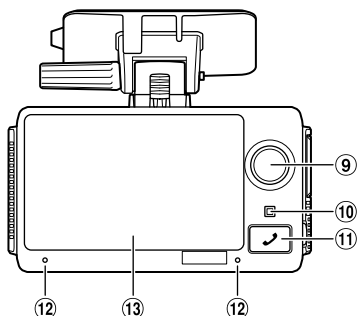
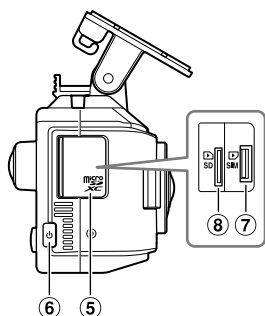
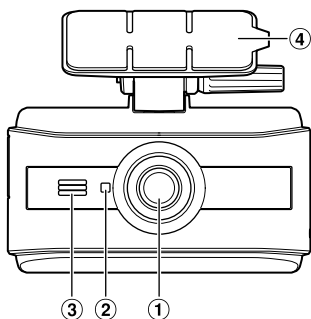
- 「OFF」に設定すると、常にドライブレコーダーへ電源が供給されます。
- 本機の駐車監視録画を「OFF」に設定して電源ボックスのオフタイマーを「OFF」にした場合でも、常にドライブレコーダーへ電源が供給されます。そのため、本機の駐車監視録画を「OFF」に設定した場合は、オフタイマーを12時間に設定することを推奨します。
- タイマーは多少の誤差が生じます。

スイッチ番号	3	4	3	4	3	4	3	4
ON	■	■		■	■			
OFF			■			■	■	■
時間	OFF		12時間		24時間		72時間	

# 基本操作

## 各部の名称とはたらき

### ドライブレコーダー本体



- ① フロントカメラレンズ**
- ② LEDインジケータ(フロントカメラ側)**  
常時録画中: 青(点灯)  
駐車監視中: 青(点灯)  
その他: 消灯
- ③ スピーカー**  
音声ガイドや警告音、通話時の音声、ファイル再生時の音声を出力します。
- ④ 取付ブラケット**
- ⑤ スロットカバー**  
SDカードスロット、SIMカードスロットのカバーです。
- ⑥ 電源ボタン**  
3秒以上押し続けると電源をオフにします。もう一度押すと電源がオンになります。
- ⑦ SIMカードスロット**  
通信用のnano SIMカードが挿入されています。  
エラーが発生した場合以外は取り出さないでください。
- ⑧ SDカードスロット**  
録画用のmicroSDカードを挿入します。
- ⑨ インカメラレンズ(車内カメラ)**
- ⑩ LEDインジケータ(インカメラ側)**  
常時録画中: 青(点灯)  
駐車監視中: 青(点灯)  
機器エラー: 赤(点灯)  
その他: 消灯

### ⑪ 緊急通報ボタン

緊急通報の発信画面を表示します。

### ⑫ マイク

音声の録音や通話時に使用します。

### ⑬ タッチパネル液晶画面

メニュー画面、再生画面などを表示します。指でタッチして操作します。

### ⑭ リセットボタン

先の細いものでボタンを押して本機をリセット(再起動)します。

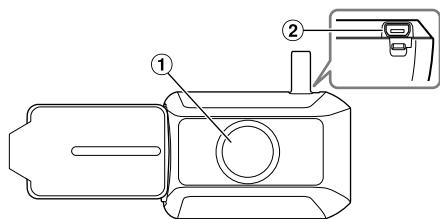
### ⑮ リアカメラ接続ポート

リアカメラ(別売)のケーブルを接続します。

### ⑯ 電源端子

電源ケーブルを接続します。

## リアカメラ(別売)



### ① リアカメラレンズ

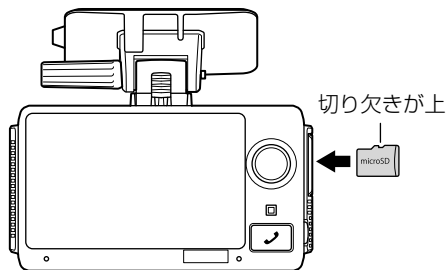
### ② リアカメラに付属の接続ポート

リアカメラに付属のリアカメラケーブルを使用してドライブレコーダー本体に接続します。

## microSDカードの挿入と取り外し

### microSDカードを挿入する

車のエンジンスイッチをOFFにするか、「電源」ボタンを3秒以上押し続けて本機の電源をOFFにしてからスロットカバーを開け、SDカードスロットにカチッと音がするまでカードを挿入します。



- 本機は、32GB～128GBのmicroSDHC/SDXCカード(Class 10推奨)に対応しています。
- カードスロット横のアイコンを確認しながら、カードを正しい向きでドライブレコーダー本体に差し込んでください。カードが正しく差し込まれていない場合、カードスロットやカード自体が損傷することがあります。
- 付属のmicroSDカード以外の互換性や動作不良については、一切の責任を負いません。
- 記録された録画ファイルを消失しないように、別の記憶装置に定期的にバックアップしてください。

### microSDカードを取り外す

車のエンジンスイッチをOFFにするか、「電源」ボタンを3秒以上押し続けて本機の電源をOFFにしてからスロットカバーを開け、カードを押して、カードが押し出されたら引き抜きます。

- microSDカードの破損を防ぐため、LEDインジケータ(インカメラ側)が消灯していることを確認してからカードを取り外してください。
- LEDインジケータ(インカメラ側)が消灯する前にカードを取り出した場合、録画ファイルが破損し、録画可能時間が短くなる場合があります。

## 電源のON / OFF

### 1 車のエンジン(POWER)スイッチをACC(アクセサリ)モードまたはONモードにする

本機の電源も連動してONになり、常時録画が開始されます。

### 2 本機の電源をOFFにするには車のエンジン(POWER)スイッチをOFFにする

- 「電源」ボタンを3秒以上押しでも電源を切ることができます。再び電源を入れる場合は、再度「電源」ボタンを押します。

- 電波の性質により、アンテナマークが4本表示された電波の強い状態でも通信ができない場合があります。

- ③ 緊急通報インジケータ  
📞(ダークグレー): 発信不可  
📞(ライトグレー): 発信可能  
📞(赤): 着信可能性あり

- ④ 録画状態インジケータ  
REC: 録画停止  
● REC: 録画中

- ⑤ 録画カメラインジケータ  
📷: 1カメラで録画  
📷📷: 2カメラで録画  
📷📷📷: 3カメラで録画  
📷📷📷📷: エラー

- ⑥ SDカード状態インジケータ  
SD: SDカード検出  
SD: SDカードなし  
SD: SDカードへ録画中  
SD: SDカードへの録画不可

- ⑦ サーバーアップロードインジケータ  
📶: 車両位置の情報や録画データなどをサーバーにアップロード中

- ⑧ 内蔵バッテリーインジケータ(残量表示/充電状況表示)  
🔋: バッテリー残量 100%  
🔋: バッテリー残量 100 ~ 80%  
🔋: バッテリー残量 80 ~ 30%  
🔋: バッテリー残量 30% ~ 0%  
🔋: バッテリー残量 エラー  
🔋: 充電状況 100%  
🔋: 充電状況 100 ~ 80%  
🔋: 充電状況 80 ~ 30%  
🔋: 充電状況 30% ~ 0%

- 低温時には充電速度が遅くなる場合があります。

- ⑨ 日時表示

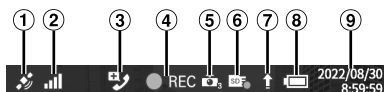
## ホーム画面について



- ① タッチして音量を調整します。
- ② タッチしてマイクのON / OFFを切りかえます。
- ③ タッチしてカメラを切りかえます。
- ④ MENU画面を表示します。
- ⑤ タッチすると[■] (停止) ボタンに切りかわり、手動録画を開始します。録画を停止するには[■] ボタンをタッチします。

## インジケータ表示について

画面上部には、通信状態やSDカードの状態、バッテリーの状態などのさまざまな情報が表示されます。



### ① 測位衛星の受信状態インジケータ

- 📶: 測位衛星受信中
- 📶: 測位衛星未検出

### ② モバイルネットワークインジケータ

- 📶: nano SIMカードなし
- 📶: レベル0
- 📶: レベル1
- 📶: レベル2
- 📶: レベル3
- 📶: レベル4



## 衝撃検知通知


衝撃を検知すると、以下の衝撃検知画面が表示され、イベント録画が開始されます。




- ・走行状態、道路状況により衝撃を検知してしまう場合があります。
- ・実際の交通事故でも、車両の状況や衝撃の大きさによっては検知できない場合があります。
- ・専用モバイルアプリ連携を行っている場合は、イベント録画が発生したことがアプリに自動で通知されます。
- ・イベント録画は、microSDカードおよびバックアップメモリに保存されます。詳しくは「イベント録画」(19ページ)を参照してください。

## 緊急通報

強い衝撃を検知した際に[自動通報設定]がONになっていると、自動で緊急通報画面が表示されます。

画面に表示された[>]をタッチすることで、オペレーターとの通話が開始されます。



- ・実際の交通事故でも、車両の状況や衝撃の大きさによっては表示されない場合があります。
- ・[自動通報設定]がONになっていても、LTE通信が不可の場合、緊急通報画面は自動表示されません。詳しくは「自動通報設定のON / OFFを切りかえる」(32ページ)を参照してください。
- ・専用モバイルアプリ連携を行っている場合は、緊急通報の通話開始時に緊急通報が発生したことがアプリに自動で通知されます。
- ・オペレーターとの通話終了後しばらくの間は、オペレーターから電話がかかってくる可能性があります。電話着信の可能性がある場合はホーム画面上部のインジケータエリアに[>] (赤)が表示されます。
- ・車のエンジンスイッチをOFFにしても、オペレーターから電話がかかってくる可能性がある間は、本機は待機状態となります。電話がかかってきた際は、自動で緊急通報画面が表示されます。待機時間終了後は自動で画面表示がOFFになります。

## 安全運転支援機能について

本機は、安全運転をサポートするさまざまな機能を備えています。

- ・速度超過検知で検出される速度制限標識として、LED標識、補助標識付き標識、複数の標識が並存する場合については、正しく検知できない可能性があります。
- ・道路の形状によっては、自転車走行車線以外の速度制限標識、一時停止標識を検知してしまう可能性があります。
- ・以下のような場合、安全運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
  - 木立やトンネル、高層ビル街などで測位衛星信号が正しく受信できない場合
  - 道路舗装の劣化や降雨時の反射などにより車線などの路面標識が正しく認識できない場合
  - 車両の形状や塗装色、光の加減などによって車両が正しく認識できない場合
  - 天候(雨・雪・濃霧など)、時間帯(朝方・夕方・夜間など)、逆光、交通状況(渋滞・歩行者など)による変化
  - ダッシュボードに物などが置かれ、フロントガラスに映り込んでいる場合
  - サングラスやマスクなどで顔の一部が覆われている場合
- ・本機が高温になると、製品保護のために安全運転支援機能の動作を停止することがあります。

## 警告

- ・安全運転を行う責任は運転者にあります。安全運転支援機能を過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。
- ・安全運転支援機能は、運転者に注意を促して事故を未然に防ぐためのサポートであり、すべての事故を未然に防ぐものではありません。また、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 前方衝突検知

走行時に前方車両との距離を検出して、衝突のおそれがある場合にアラートでお知らせします。検知感を調整できます(30ページ)。

## 車線逸脱検知

走行車線からの逸脱を検知し、アラートでお知らせします。検知感度と最低検知速度を調整できます(31ページ)。

## 一時停止見落とし検知

フロントカメラ映像から一時停止標識を認識し、一時停止場所で止まれないおそれがあるときにアラートでお知らせします(31ページ)。

## 高速道逆走注意

フロントカメラ映像から道路標識などを認識し、高速道路で逆走の可能性を検知したときにお知らせします(31ページ)。

## 走行時間通知

運転時間が2時間以上経過したときにお知らせします。その後も運転が続くときは2時間ごとにお知らせします(31ページ)。

## あおり運転検知

リアカメラ映像からあおり運転を検知したときにお知らせし、録画します。検知感度の調整やあおり運転動画を自動でサーバーにアップロードするかどうかを設定できます(29ページ)。

- あおり運転検知は、リアカメラ(別売)を接続した場合にのみ有効となります。

## 前方車両発進検知

前方車両の発進後、自車が発進しなかったときにお知らせします(31ページ)。

## 速度超過検知

フロントカメラ映像から速度制限標識を認識し、制限速度を超過して走行しているおそれがある場合にアラートでお知らせします(31ページ)。

## 居眠り検知

インカメラ映像からドライバーの顔を確認し、居眠り運転のおそれがあるときに警告を行います(32ページ)。

## わき見検知

インカメラ映像からドライバーの顔を確認し、わき見運転のおそれがあるときに警告を行います(32ページ)。

## 携帯電話利用検知

インカメラ映像からドライバーの顔を確認し、携帯電話を耳にあてる動作を検知したときに警告を行います(32ページ)。

# 録画する

## 録画モードについて

本機は、以下の5種類の録画モードに対応しています。

- 常時録画
  - 手動録画
  - イベント録画
  - あおり運転録画
  - 駐車監視録画
- プロテクト可能な最大ファイル数は、常時録画で10ファイル、その他の録画モードで5ファイルとなります。
  - イベント録画が行われた際、イベント(事故)前後の映像保護として、前後の常時録画が自動でプロテクトされます。このプロテクトもプロテクトファイル数に含まれます。
  - 自動プロテクトされたファイルは、映像再生メニュー画面の[プロテクト(保護)ファイル]から確認できます。

## 常時録画

車のエンジンスイッチをACCまたはONにすると、本機の電源も連動してONになり、常時録画が開始されます。

- 常時録画の動画データはmicroSDカードに保存されます。
- 動画データは1分ごとにファイルが分割されて保存されます。
- 最大録画時間は、使用するmicroSDカードの容量およびリアカメラ(別売)の接続有無によって異なります。
- microSDカードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きされます。
- microSDカードの容量ごとの録画目安時間は以下のとおりです。

### ■ リアカメラ(別売)が接続されている場合

	32GB	64GB	128GB
常時録画	1時間26分	2時間52分	5時間44分

※ フロントカメラ、インカメラ、リアカメラ(別売)それぞれの録画時間です。


### ■ リアカメラ(別売)が接続されていない場合

	32GB	64GB	128GB
常時録画	2時間44分	5時間28分	10時間56分

※ フロントカメラとインカメラそれぞれの録画時間です。

- microSDカードによっては、実際に録画できる時間が上記の録画目安時間より少なくなる場合もあります。
- 常時録画の録画データは、自動でサーバーにアップロードされません。必要に応じて、手動でアップロードしてください。詳しくは「ファイルを手動でサーバーにアップロードする」(23ページ)を参照してください。

## 手動録画

【】(録画)ボタンをタッチすると、ボタンをタッチする10秒前からボタンをタッチした50秒後までの60秒間の動画を録画できます。

- 手動録画の動画データは、microSDカードおよびバックアップメモリに保存されます。
- バックアップメモリには、最大10ファイル記録できます。
- microSDカードの容量ごとの記録可能ファイル数は以下のとおりです。

	32GB	64GB	128GB
手動録画	10	20	40

※ フロントカメラ、インカメラ、リアカメラ(別売)それぞれの録画ファイル数です。

- 専用モバイルアプリ連携を行っている場合は、手動録画を行ったことがアプリに自動で通知されます。
- 手動録画の録画データは、自動でサーバーにアップロードされません。必要に応じて手動でアップロードしてください。詳しくは「ファイルを手動でサーバーにアップロードする」(23ページ)を参照してください。

## イベント録画

運転中に車両に衝撃が加わった場合、イベント録画が開始されます。動画と静止画が記録されます。

- 実際の交通事故でも、車両の状況や衝撃の大きさによっては検知できない場合があります。
- イベント録画の動画・静止画データは、microSDカードおよびバックアップメモリに保存されます。
- 動画の記録時間は、衝撃検知前の10秒間と検知後の5秒間の合計15秒間です。
- 静止画は3枚(検知3秒前・検知時・検知3秒後)記録されます。
- 強い衝撃でのイベント録画の場合、イベント録画が完了したときに、録画データはサーバーに自動でアップロードされます。
- 弱い衝撃でのイベント録画の場合は、自動でアップロードされません。必要に応じて、手動でアップロードしてください。詳しくは「ファイルを手動でサーバーにアップロードする」(23ページ)を参照してください。

- バックアップメモリには、最大20ファイル記録できます。静止画も同数記録できますが、3枚ずつのため、20×3となります。
- microSDカードの容量ごとの記録可能ファイル数は以下のとおりです。

	32GB	64GB	128GB
イベント録画	20	40	80

※ フロントカメラ、インカメラ、リアカメラ(別売)それぞれの録画ファイル数です。

- 静止画も同数記録できますが、3枚ずつのため、例えば32GBの場合は20×3となります。
- 専用モバイルアプリ連携を行っている場合は、イベント録画が発生したことがアプリに自動で通知されます。

## あおり運転録画

あおり運転を検知した場合、録画が開始されます。

- あおり運転録画の動画データは、microSDカードに保存されます。
- 動画の記録時間は、あおり運転検知前の10秒間と検知後の50秒間の合計60秒間です。
- あおり運転録画が完了したときに、録画データをサーバーにアップロードするかどうかを設定できます(29ページ)。
- microSDカードの容量ごとの記録可能ファイル数は以下のとおりです。

	32GB	64GB	128GB
あおり運転録画	10	20	40

※ フロントカメラ、インカメラ、リアカメラ(別売)それぞれの録画ファイル数です。

- 専用モバイルアプリ連携を行っている場合は、あおり運転録画が発生したことがアプリに自動で通知されます。

## 駐車監視録画

駐車中に車両に衝撃が加わった場合または録画エリア内にモーション(動き)があった場合に録画が開始されます。録画があった場合は、ドライブレコーダー起動時に画面メッセージと音声でお知らせします。駐車監視録画には「省電力」と「モーション」の2種類の撮影モードがあります。

- ドアの開閉や乗車などで衝撃を検知する場合があります。
- 天候、時間帯、交通状況により検知できない場合があります。
- 駐車監視録画の動画・静止画データは、microSDカードおよびバックアップメモリに保存されます。
- 駐車監視録画があったときにメール通知を発信するかどうかを設定できます(29ページ)。

- 衝撃検知での録画データは、サーバーに自動でアップロードされます。モーション(動き)検知での録画データは、自動アップロードは行われません。
- 通信環境などにより、自動アップロードが失敗する場合があります。自動アップロードが失敗したときは、手動でアップロードを行ってください。詳しくは「ファイルを手動でサーバーにアップロードする」(23ページ)を参照してください。
- バックアップメモリには、最大10ファイル記録できます。静止画も同数記録できます。
- microSDカードの容量ごとの記録可能ファイル数は以下のとおりです。

	32GB	64GB	128GB
駐車監視録画	10	20	40

※ フロントカメラ、インカメラ、リアカメラ(別売)それぞれの録画ファイル数です。静止画も同数記録できます。

- 専用モバイルアプリ連携を行っている場合は、駐車監視録画が発生したことがアプリに自動で通知されます。
- 本機が高温になると、製品保護のためにモーション(動き)検知の動作を停止することがあります。

### 「省電力」モード

駐車中に車両に衝撃が加わった場合、検知から2.6秒以内に録画が開始され、録画開始時に静止画も記録されます。

- 動画の記録時間は60秒間です。

### 「モーション」モード

駐車中に車両に衝撃が加わった場合または録画エリア内にモーションがあった場合、検知10秒前から検知50秒後までの60秒間が録画されます。また、検知時に静止画も記録されます。

## 夜間映像鮮明化撮影について

本機は、夜間映像鮮明化機能により、夜間に鮮明で解像度の高い映像を撮影することができます。この機能は常時アクティブになっており、設定は不要です。

## 再生する

### ドライブレコーダー本体で再生する

#### 1 ホーム画面で[ ]をタッチする

MENU画面が表示されます。

#### 2 MENU画面で[映像再生]を選択する

映像再生メニュー画面が表示されます。

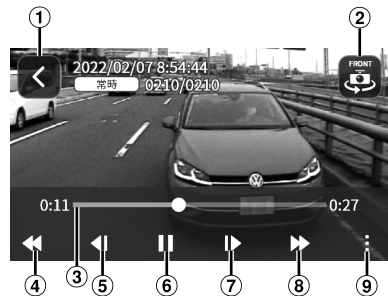
- 映像再生メニューの各画面で[×]をタッチすると、ホーム画面に戻ります。
- 録画ファイル名は、録画時の日時(YYYY/MM/DD hh:mm)で自動的に付けられています。例えば、2022年7月21日12時に録画した場合、ファイル名は「2022/07/21 12:00」となります。再生する際は、希望の日時のファイルを選んでください。
- 対象ファイルがないメニュー項目は、グレーアウトで表示されます。



### ■ 動画再生画面例(再生中)

動画再生画面になると、動画は自動で再生されます。

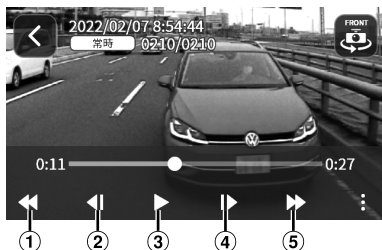
映像部分をタッチすると、操作ボタンが表示されます。再度タッチすると、操作ボタンを消すことができます。



- ① 戻るボタン  
前の画面に戻ります。
- ② カメラ切替ボタン  
カメラを切りかえます。
- ③ タイムバー(経過時間/残り時間)

- ④ 「前へ」ボタン  
再生中の動画ファイルの先頭に戻ります。再生開始直後にタッチしたときは、前のファイルに戻ります。
- ⑤ 早戻しボタン  
タッチし続けると早戻しを行います。
- ⑥ 一時停止ボタン  
動画を一時停止します。
- ⑦ 早送りボタン  
タッチし続けると早送りをを行います。
- ⑧ 「次へ」ボタン  
次の動画ファイルの先頭に飛び、再生します。
- ⑨ 再生設定サブメニューボタン  
再生設定サブメニューを表示します。
  - 以下の操作ができます。
    - 音量調整
    - 画面の明るさ調整
    - ファイルのプロテクト/解除
    - ファイルの削除
    - ファイルをサーバーにアップロード
  - 詳しくは「再生の設定をする」(22ページ)を参照してください。

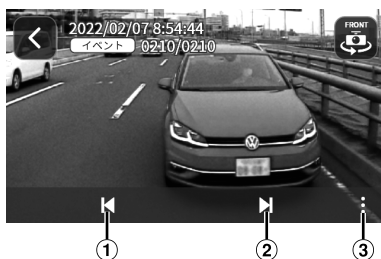
## ■ 動画再生画面例(一時停止中)



- ① 「前へ」ボタン  
前のファイルに戻り、一時停止します。
- ② コマ戻し/逆スロー再生ボタン  
タッチするたびに1コマずつコマ戻しをします。長押しをするとタッチしている間逆スロー再生します。
- ③ 再生ボタン  
動画を再生します。
- ④ コマ送り/順スロー再生ボタン  
タッチするたびに1コマずつコマ送りをします。長押しをするとタッチしている間順スロー再生します。
- ⑤ 「次へ」ボタン  
次の動画ファイルの先頭に飛び、一時停止します。

## ■ 静止画再生画面例

映像部分をタッチすると、操作ボタンが表示されます。再度タッチすると、操作ボタンを消すことができます。



- ① 「前へ」ボタン  
一つ前の静止画を再生します。
- ② 「次へ」ボタン  
次の静止画を再生します。
- ③ 再生設定サブメニューボタン  
再生設定サブメニューを表示します。
  - 詳しくは「再生の設定をする」(22ページ)を参照してください。

## 常時録画の動画を再生する

映像再生メニュー画面で[常時録画]を選択し、再生する動画を選択します。

- [🗑️]をタッチするとファイルを選択して削除することができます。ただし、プロテクト(保護)ファイルが含まれる場合は削除できません。

## 手動録画の動画を再生する

映像再生メニュー画面で[手動録画]を選択し、再生する動画を選択します。

- [🗑️]をタッチするとファイルを選択して削除することができます。

## イベント録画の動画を再生する

映像再生メニュー画面で[イベント録画]を選択し、再生する動画を選択します。

- [🗑️]をタッチするとファイルを選択して削除することができます。

## あおり運転録画の動画を再生する

映像再生メニュー画面で[あおり運転録画]を選択し、再生する動画を選択します。

- [🗑️]をタッチするとファイルを選択して削除することができます。

## 駐車衝撃録画の動画を再生する

映像再生メニュー画面で[駐車衝撃録画]を選択し、再生する動画を選択します。

- [🗑️]をタッチするとファイルを選択して削除することができます。

## 駐車モーション録画の動画を再生する

映像再生メニュー画面で[駐車モーション録画]を選択し、再生する動画を選択します。

- [🗑️]をタッチするとファイルを選択して削除することができます。

## 静止画を再生する

映像再生メニュー画面で[静止画]を選択します。

- [🗑️]をタッチするとファイルを選択して削除することができます。

### イベント録画の静止画を再生する

静止画メニュー画面で[イベント録画]を選択し、再生する静止画を選択します。

### 駐車衝撃録画の静止画を再生する

静止画メニュー画面で[駐車衝撃録画]を選択し、再生する静止画を選択します。

### 駐車モーション録画の静止画を再生する

静止画メニュー画面で[駐車モーション録画]を選択し、再生する静止画を選択します。

## プロテクトされたファイルを再生する

映像再生メニュー画面で[プロテクト(保護)ファイル]を選択します。

各録画カテゴリから再生する動画/静止画を選択します。

## バックアップメモリに保存されたファイルを再生する

映像再生メニュー画面で[バックアップメモリ]を選択します。

各録画カテゴリから再生する動画/静止画を選択します。

- [🗑️]をタッチするとファイルを選択して削除することができます。

## バックアップメモリに保存されたファイルをSDカードにコピーする

映像再生メニュー画面で[バックアップメモリのファイルコピー]を選択します。

空のmicroSDカードを挿入して[コピー開始]をタッチします。

- コピー中はmicroSDカードを抜かないください。

## 再生の設定をする

動画再生画面または静止画再生画面で[⋮]ボタンをタッチすると、再生設定サブメニューが表示されます。

- サブメニューを閉じるには、右下の[×]をタッチします。



## 音量を調整する

再生設定サブメニューで[音量]を選択します。

音量調整ボタンが表示され、音量を調整できます。

## 画面の明るさを調整する

再生設定サブメニューで[明るさ]を選択します。

画面の明るさ調整ボタンが表示され、画面の明るさを調整できます。

## ファイルをプロテクトする

プロテクトしたいファイルを再生し、再生設定サブメニューで[プロテクト]を選択します。

画面上部に鍵アイコンが表示され、すべてのカメラのファイルがプロテクトされます。

- ファイルがプロテクトされている場合、再生設定サブメニューには[プロテクト解除]が表示されます。
- ファイルがプロテクトされている場合、再生設定サブメニューの[削除]は無効表示されます。
- バックアップメモリに保存されているファイルはプロテクトできません。

## ファイルのプロテクトを解除する

プロテクトを解除したいファイルを再生し、再生設定サブメニューで[プロテクト解除]を選択します。

画面上部の鍵アイコンが消え、ファイルのプロテクトが解除されます。

## ファイルを削除する

削除したいファイルを再生し、再生設定サブメニューで[削除]を選択します。

## ファイルを手動でサーバーにアップロードする

サーバーにアップロードしたいファイルを再生し、再生設定サブメニューで[アップロード]を選択します。

- サーバーにアップロードしたファイルは、専用モバイルアプリで再生することができます。
- 通信環境などにより、専用モバイルアプリで確認できるまで時間がかかる場合があります。

## PC Viewerで再生する

PC Viewerで録画ファイルを再生する方法は以下のとおりです。PC Viewerの詳細については、「PC Viewer」(38ページ)を参照してください。

- 1 microSDカードを本機から取り出す
- 2 パソコンに接続されているカードリーダーにmicroSDカードを挿入する
- 3 PC Viewer「ALPINE CONNECTED VIEWER」のショートカットアイコンをダブルクリックして、PC Viewerを起動する
- 4 PC Viewerの画面左上にある[📁]をクリックし、録画ファイルが保存されているフォルダを指定する  
フォルダ内の録画ファイルは、PC Viewerの画面右下にある再生ファイルリストに表示されます。
- 5 再生ボタンをクリックするか、再生ファイルリストの録画ファイルをダブルクリックする

## 専用モバイルアプリで再生する

専用モバイルアプリの画面下部にある[動画一覧]をタッチして、動画一覧画面を表示します。動画一覧画面で、再生する録画イベントを選択します。

- 専用モバイルアプリの画面メニューについては、「専用モバイルアプリの画面メニュー」(36ページ)を参照してください。
- 動画一覧画面は、リスト表示と地図表示を切りかえることができます。リスト表示画面で[📄] (地図表示) ボタンをタッチすると地図表示画面に切りかわり、地図表示画面で[📄] (リスト表示) ボタンをタッチするとリスト表示画面に切りかわります。

### ■ 動画一覧画面(リスト表示)



### ■ 動画一覧画面(地図表示)



- リスト表示画面または地図表示画面で録画イベントをタッチすると、選択したイベントの映像を再生できます。

### ■ 動画再生画面



- リスト表示画面または地図表示画面で[🔍] (フィルタ) ボタンをタッチすると、リストや地図に表示されるイベントの種類を選択することができます。

### ■ 動画一覧画面(フィルタ表示)



- リスト表示画面または地図表示画面で[📅] (カレンダー) ボタンをタッチすると、カレンダーが表示され、イベントが発生した日付を探ることができます。

### ■ 動画一覧画面(カレンダー表示)





# 緊急通報

## 緊急通報に関するご注意

### ⚠️ 注意

- 誤通報やいたずら、試し押し等の救援が必要でない通報をしないでください。以下は禁止事項となります。
  - 救援が必要でない状況で、故意にドライブレコーダーの[緊急通報]をタッチしてコールすること
  - オペレーターからの問いかけに対し、故意に応じないこと

- 緊急通報の通話品質は、ご利用時の通信環境により異なります。
- 緊急通報の通話中は、ドライブレコーダーの音声は録音されません。
- 本機の緊急通話機能は、本機の動作に影響をおよぼす車両の状況や事故の状況、天候、通信環境等により、その機能が発揮できない場合があります。
- 本機の緊急通報機能は、自動発報は行いません。お客様ご自身で[緊急通報]をタッチして通報してください。
- 本サービスは以下の場合、動作しません。
  - 通信圏外の場合
  - 電話回線が混み合っている場合
  - 正しく取り付けられていない場合
  - SIMが挿入されていない等で通信できない場合
  - 解約済みの場合
  - 契約期間外
  - 本機の故障、損傷がある場合
  - 本機の動作温度範囲(-20℃ ~ +60℃)外の場合
- 本機の緊急通報機能は、警察、救急、消防などへの通報サービス(110、119などへの通報と同じ)であり、事故や商品などの相談対応窓口ではありません。
- 本機の緊急通報機能は、お客様に代わって警察、消防などの救援機関に通報するサービスです。
- 緊急通報における警察、消防への通報は、一般電話、携帯電話からの通報と同様に扱われます。警察、消防への通報が優先的に取り扱われるものではありません。
- 本機の緊急通報機能は、ドライブレコーダーからの通報が救援機関に接続するまで、一定の時間を要します。
- 緊急通報に接続されたとしても、お客様が負う道路交通法上の措置、通報義務は免除されません。お客様ご自身の責任において、救助等の状況に応じた適切な措置が必要となります。

- 緊急通報の通話内容は録音することがあります。録音の内容は、サービスの改善や向上の目的で使用することがあります。また警察や消防などの関係機関に提供することがあります。
- 本機のご契約の際に登録された利用者名、利用車両の情報変更があったときは、速やかにお買い上げ店で登録情報を変更してください。登録された車両情報をもとに、警察、救急などが対象車両を現場で探す仕組みになっています。
- 緊急通報機能は、自動車保険会社への通報サービスではありません。自動車保険会社へは直接連絡してください。
- 本機の故障などで通報できないときは、お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口までご相談ください。

## 緊急通報とは

事故や急病などの場合に、オペレーターが緊急時の状況を確認して、お客様に代わって最寄りの警察、消防などへ通報します。

## 緊急通報の利用について

本機をご契約されたお客様は、本機を取り付けし、試験通報を実施いただいた後から緊急通報をご利用いただけます。別途のお申し込みは不要です。

## 緊急通報の使い方

本機が強い衝撃を検知した場合、自動で緊急通報の発信画面が表示されます(設定にてOFFにすることもできます)。

本機の「緊急通報」ボタンを押すことでも、緊急通報の発信画面が表示されます。

## 自動通報の使い方

自動通報は、本機が強い衝撃を検知した場合、自動で緊急通報の発信画面が表示される動作のことです。

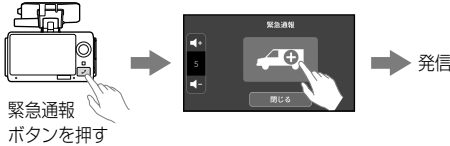
画面に表示された[緊急通報]をタッチすることで通話が開始されます。



## 手動通報の使い方

手動通報は、お客様で自身で本機の「緊急通報」ボタンを押して緊急通報の発信画面を表示することです。

画面に表示された[+]をタッチすることで通話が開始されます。



## 呼び返しの着信について

緊急通報の通話終了後、オペレーターや救援機関から呼び返し着信がある場合があります。

通話終了後、60分以内に着信があった際は、本機が自動応答し、通話が始まります。

通話終了後、60分以内は、本機は呼び返しの着信を受け付けるための待機状態として、車のエンジンをOFFにした場合でも動作は継続します。

60分経過後は、自動で電源がOFFになります。

## 本体の設定

ホーム画面で[≡]をタッチして、MENU画面を表示します。

- 各設定画面で[×]をタッチすると、ホーム画面に戻ります。

## 基本設定

MENU画面で[基本設定]を選択します。

### ■ 基本設定画面



#### 設定項目:

- 音声録音(26ページ)
- 画面の明るさ(27ページ)
- 画面の明るさ調整動作(27ページ)
- 画面の明るさ調整時間設定(27ページ)
- インカメラ撮影(27ページ)
- リアカメラ撮影(27ページ)
- リアカメラ映像反転(27ページ)
- 案内音声音量(27ページ)
- 案内モード(27ページ)
- 通話音量(28ページ)
- 録画映像への字幕記録(28ページ)
- お知らせ通知(28ページ)
- GPS測位情報通知(28ページ)

## 動画に音声を録音する

基本設定メニュー画面で[音声録音]を選択します。

動画に内蔵マイクによる音声を録音するかどうかを設定します。

#### 設定項目:

- 音声録音

#### 設定値:

- ON / OFF(初期設定値:ON)

## 画面の明るさを調整する

基本設定メニュー画面で[画面の明るさ]を選択します。

### 設定項目:

画面の明るさ

### 設定レベル:

-5 ~ 5(初期設定値:5)

## 液晶画面の節電設定を変更する

基本設定メニュー画面で[画面の明るさ調整動作]を選択します。

待機中の液晶画面の節電設定を変更できます。

### 設定項目:

画面の明るさ調整動作

### 設定値:

常時点灯 / 暗くする / 消灯(初期設定値:暗くする)

## 液晶画面の節電移行時間を変更する

基本設定メニュー画面で[画面の明るさ調整時間設定]を選択します。

液晶画面が節電に移行する時間を変更できます。

### 設定項目:

画面の明るさ調整時間設定

### 設定値:

10秒 / 30秒 / 1分 / 3分(初期設定値:10秒)

## インカメラのON / OFFを切りかえる

基本設定メニュー画面で[インカメラ撮影]を選択します。

インカメラによる撮影を行うかどうかを設定します。

### 設定項目:

インカメラ撮影

### 設定値:

ON / OFF(初期設定値:ON)

- ・インカメラ撮影をOFFにした場合でも、居眠り検知、わき見検知、携帯電話利用検知は設定した動作を行います。

## リアカメラ(別売)のON / OFFを切りかえる

基本設定メニュー画面で[リアカメラ撮影]を選択します。

リアカメラ(別売)による撮影を行うかどうかを設定します。

### 設定項目:

リアカメラ撮影

### 設定値:

ON / OFF(初期設定値:ON)

- ・リアカメラが接続されていない場合、この設定項目はグレーアウトで表示され、操作できません。
- ・リアカメラ撮影をOFFにした場合でも、あおり運転録画は設定した動作を行います。

## リアカメラ(別売)の上下反転設定を切りかえる

基本設定メニュー画面で[リアカメラ映像反転]を選択します。

リアカメラ(別売)を上下逆に取り付けた場合、ONにすると映像を上下反転して正しい向きにします。

### 設定項目:

リアカメラ映像反転

### 設定値:

ON / OFF(初期設定値:OFF)

- ・リアカメラが接続されていない場合、この設定項目はグレーアウトで表示され、操作できません。

## 案内音声の音量を調整する

基本設定メニュー画面で[案内音声音量]を選択します。

### 設定項目:

案内音声音量

### 設定値:

OFF / 1 ~ 5(初期設定値:3)

## 案内音声の方法を設定する

基本設定メニュー画面で[案内モード]を選択します。

### 設定項目:

案内モード

### 設定値:

音声通知 / サウンド通知(初期設定値:音声通知)

音声通知: 音と声で通知を行います。  
サウンド通知: 音のみで通知を行います。

## 通話音量を調整する

基本設定メニュー画面で[通話音量]を選択します。

設定項目:

通話音量

設定レベル:

1～5(初期設定値:3)

## 録画映像への字幕記録のON / OFFを切りかえる

基本設定メニュー画面で[録画映像への字幕記録]を選択します。

録画映像に情報スタンプ(日時、走行速度、経緯度、ファームウェアバージョン)を入れるかどうかを設定します。

設定項目:

録画映像への字幕記録

設定値:

ON / OFF(初期設定値:ON)

## お知らせ通知のON / OFFを切りかえる

基本設定メニュー画面で[お知らせ通知]を選択します。ONにすると、ドライブレコーダー起動時にお知らせがある場合に通知します。

設定項目:

お知らせ通知

設定値:

ON / OFF(初期設定値:ON)

## GPS測位情報通知のON / OFFを切りかえる

基本設定メニュー画面で[GPS測位情報通知]を選択します。

ONにすると、GPSの測位状態が変化した際に通知します。

設定項目:

GPS測位情報通知

設定値:

ON / OFF(初期設定値:OFF)

## 録画設定

MENU画面で[録画設定]を選択します。

### ■ 録画設定画面



設定項目:

イベント録画 衝撃検知レベル(28ページ)

あおり運転録画 検知レベル(29ページ)

あおり運転録画 サーバーアップロード(29ページ)

駐車監視設定(29ページ)

駐車位置情報(30ページ)

## イベント録画の衝撃検知レベルを設定する

録画設定メニュー画面で[イベント録画 衝撃検知レベル]を選択します。

運転中に衝撃を検知して録画を開始する際の検知感度を設定します。感度が高いほど、小さな衝撃でも録画が行われます。

設定項目:

イベント録画 衝撃検知レベル

設定値:

最も低い / 鈍感 / 中間 / 敏感 / 最も高い(初期設定値:中間)

## あおり運転録画の検知レベルを設定する

録画設定メニュー画面で[あおり運転録画 検知レベル]を選択します。

あおり運転を検知して録画を開始する際の検知感度を設定します。

### 設定項目:

あおり運転録画 検知レベル

### 設定値:

OFF / 鈍感 / 中間 / 敏感(初期設定値:中間)

OFF: あおり運転録画を行いません。

鈍感: 車両の後方10メートル以内に8秒間、別の車両がある場合に検知されます。

中間: 車両の後方10メートル以内に5秒間、別の車両がある場合に検知されます。

敏感: 車両の後方10メートル以内に3秒間、別の車両がある場合に検知されます。

- リアカメラが接続されていない場合、この設定項目はグレーアウトで表示され、操作できません。

## あおり運転動画を自動でサーバーにアップロードする

録画設定メニュー画面で[あおり運転録画 サーバーアップロード]を選択します。

ONにすると、あおり運転の動画が自動でサーバーにアップロードされます。

### 設定項目:

あおり運転録画 サーバーアップロード

### 設定値:

ON / OFF(初期設定値:OFF)

- リアカメラが接続されていない場合、この設定項目はグレーアウトで表示され、操作できません。

## 駐車監視録画を設定する

録画設定メニュー画面で[駐車監視設定]を選択します。

駐車監視録画について各種設定を行います。

### ■ 駐車監視設定画面



### 撮影モードを設定する

駐車監視設定メニュー画面で[撮影モード]を選択します。

### 設定項目:

撮影モード

### 設定値:

OFF / 省電力 / モーション(初期設定値:OFF)

OFF: 駐車監視を行いません。

省電力: 駐車時に衝撃の監視を行います。

モーション: 駐車時に車両近くでの移動物体の監視および衝撃の監視の両方を行います。

### 駐車監視録画をメールで通知する

駐車監視設定メニュー画面で[検知メール通知]を選択します。

ONにすると、駐車監視録画をした際にメールで通知が届きます。専用モバイルアプリでメールアドレスを登録している必要があります。

### 設定項目:

検知メール通知

### 設定値:

ON / OFF(初期設定値:OFF)

- 通信環境などにより、メール受信後に専用モバイルアプリで動画が確認できるまで、時間がかかる場合があります。

### 衝撃センサーの感度を設定する

駐車監視設定メニュー画面で[検知感度(衝撃)]を選択します。

感度が高いほど、小さな衝撃でも録画を行います。

### 設定項目:

検知感度(衝撃)

### 設定値:

最も低い / 鈍感 / 中間 / 敏感 / 最も高い  
(初期設定値:中間)

### モーションセンサーの感度を設定する

駐車監視設定メニュー画面で[検知感度(モーション)]を選択します。

感度が高いほど、小さな動きでも録画を行います。

### 設定項目:

検知感度(モーション)

### 設定値:

鈍感 / 中間 / 敏感(初期設定値:中間)

- 駐車監視時間が主に夜間の場合は「敏感」、主に昼間の場合は「中間」または「鈍感」を目安に設定してください。

## 駐車監視録画の開始時間を設定する

駐車監視設定メニュー画面で[開始時間(降車時)]を選択します。

エンジンをOFFにしてから駐車監視を開始するまでの時間を設定します。設定した時間は駐車監視が無効になるため、降車時のドア開閉等による誤動作を防止します。

### 設定項目:

開始時間(降車時)

### 設定値:

OFF / 30秒後 / 1分後 / 3分後 / 5分後  
(初期設定値:5分後)

## 通知/アップロード猶予時間を設定する

駐車監視設定メニュー画面で[通知/アップロード猶予時間]を選択します。

乗車時のドア開閉等による誤報を防ぐため、エンジンON前一定時間に衝撃を受けた際の駐車監視録画の通知とアップロードをキャンセルします。

### 設定項目:

通知/アップロード猶予時間

### 設定値:

OFF / 30秒後 / 1分後 / 3分後 / 5分後  
(初期設定値:1分後)

## 駐車位置情報をサーバーにアップロードする

録画設定メニュー画面で[駐車位置情報]を選択します。

エンジンOFF(ACC OFF)時に静止画を撮影してサーバーにアップロードするかどうかを設定します。この静止画を専用モバイルアプリで表示して駐車位置を確認することができます。

### 設定項目:

駐車位置情報

### 設定値:

ON / OFF(初期設定値:ON)

- 通信環境などにより、専用モバイルアプリで確認できるまで時間がかかる場合があります。

## 運転支援設定

MENU画面で[運転支援設定]を選択します。

### ■ 運転支援設定画面



### 設定項目:

前方衝突検知(30ページ)  
前方車両発進検知(31ページ)  
車線逸脱検知(31ページ)  
車線逸脱検知速度(31ページ)  
一時停止見落とし検知(31ページ)  
高速道逆走注意(31ページ)  
速度超過検知(31ページ)  
走行時間通知(31ページ)  
居眠り検知(32ページ)  
わき見検知(32ページ)  
携帯電話利用検知(32ページ)

## 前方衝突検知を設定する

運転支援設定メニュー画面で[前方衝突検知]を選択します。

走行時に前方車両との距離を検出して、衝突のおそれがある場合にアラートでお知らせします。

### 設定項目:

前方衝突検知

### 設定値:

OFF / 鈍感 / 中間 / 敏感(初期設定値:中間)

OFF: 前方衝突検知を行いません。  
鈍感: 前方車両との相対速度から2秒以内に衝突が予想された時点で検知されません。  
中間: 前方車両との相対速度から3秒以内に衝突が予想された時点で検知されません。  
敏感: 前方車両との相対速度から4秒以内に衝突が予想された時点で検知されません。

## 前方車両発進検知を設定する

運転支援設定メニュー画面で[前方車両発進検知]を選択します。

ONにすると、前方車両の発進後に自車が発進しなかった場合、通知を行います。

### 設定項目:

前方車両発進検知

### 設定値:

ON / OFF (初期設定値: ON)

## 車線逸脱検知を設定する

運転支援設定メニュー画面で[車線逸脱検知]を選択します。

走行車線からの逸脱を検知し、アラートでお知らせします。

### 設定項目:

車線逸脱検知

### 設定値:

OFF / 鈍感 / 中間 / 敏感 (初期設定値: 中間)

OFF: 車線逸脱検知を行いません。

鈍感: タイヤが車線を越え続けた場合に検知されます。

中間: タイヤが車線を越えた時点を目安に検知されます。

敏感: サイドミラーが車線を越えた時点を目安に検知されます。

## 車線逸脱検知速度を設定する

運転支援設定メニュー画面で[車線逸脱検知速度]を選択します。

車線逸脱検知を行う最低速度を設定します。

### 設定項目:

車線逸脱検知速度

### 設定値:

50km/h / 60km/h / 80km/h / 100km/h (初期設定値: 50km/h)

## 一時停止見落とし検知のON / OFFを切りかえる

運転支援設定メニュー画面で[一時停止見落とし検知]を選択します。

フロントカメラ映像から一時停止標識を認識し、一時停止場所で止まれないおそれがあるときにアラートでお知らせします。

### 設定項目:

一時停止見落とし検知

### 設定値:

ON / OFF (初期設定値: OFF)

## 高速道逆走注意のON / OFFを切りかえる

運転支援設定メニュー画面で[高速道逆走注意]を選択します。

フロントカメラ映像から道路標識などを認識し、高速道路で逆走の可能性を検知したときにお知らせします。

### 設定項目:

高速道逆走注意

### 設定値:

ON / OFF (初期設定値: ON)

## 速度超過検知のON / OFFを切りかえる

運転支援設定メニュー画面で[速度超過検知]を選択します。

フロントカメラ映像から速度制限標識を認識し、制限速度を超過して走行しているおそれがある場合にアラートでお知らせします。

### 設定項目:

速度超過検知

### 設定値:

ON / OFF (初期設定値: ON)

## 走行時間通知のON / OFFを切りかえる

運転支援設定メニュー画面で[走行時間通知]を選択します。

運転時間が2時間以上経過したときにお知らせします。その後も運転が続くときは2時間ごとにお知らせします。

### 設定項目:

走行時間通知

### 設定値:

ON / OFF (初期設定値: ON)

- トンネル内や高架下、高層ビル街などで測位衛星信号が正しく受信できない場合、車両の速度が不明となるため、走行時間はカウントされません。

## 居眠り検知のON / OFFを切りかえる

運転支援設定メニュー画面で[居眠り検知]を選択します。

インカメラ映像からドライバーの顔を確認し、居眠り運転のおそれがあるときに警告を行います。

設定項目:

居眠り検知

設定値:

ON / OFF(初期設定値:ON)

## わき見検知のON / OFFを切りかえる

運転支援設定メニュー画面で[わき見検知]を選択します。

インカメラ映像からドライバーの顔を確認し、わき見運転のおそれがあるときに警告を行います。

設定項目:

わき見検知

設定値:

ON / OFF(初期設定値:ON)

## 携帯電話利用検知のON / OFFを切りかえる

運転支援設定メニュー画面で[携帯電話利用検知]を選択します。

インカメラ映像からドライバーの顔を確認し、携帯電話を耳にあてる動作を検知したときに警告を行います。

設定項目:

携帯電話利用検知

設定値:

ON / OFF(初期設定値:ON)

## 緊急通報設定

MENU画面で[緊急通報設定]を選択します。

### ■ 緊急通報設定画面



設定項目:

試験通報(32ページ)

自動通報設定(32ページ)

## 試験通報を実施する

緊急通報設定メニュー画面で[試験通報]を選択します。

本機のマイクとスピーカーを使って緊急通報のテスト通話を実施し、通話音量の確認を行います。

設定項目:

試験通報

## 自動通報設定のON / OFFを切りかえる

緊急通報設定メニュー画面で[自動通報設定]を選択します。

ONにすると、本機が強い衝撃を検知した際に自動で緊急通報画面が表示されます。

設定項目:

自動通報設定

設定値:

ON / OFF(初期設定値:ON)

## 取り付け設定

MENU画面で[取り付け設定]を選択します。

### ■ 取り付け設定画面



設定項目:

セットアップ(33ページ)

撮影範囲確認(33ページ)

車両タイプ(33ページ)

ハンドル位置(33ページ)

顔認識位置(33ページ)

ドラレコ取付位置(33ページ)

レベリング確認(34ページ)

検出範囲(34ページ)

リアカメラ取付位置(34ページ)



## 取付セットアップを行う

取り付け設定メニュー画面で[セットアップ]を選択します。

### 設定項目:

セットアップ

以下の確認・設定を順番に行います。画面の指示にしたがって進めてください。

- ①撮影範囲の確認(「撮影範囲を確認する」(33ページ))
  - ②車両タイプの設定(「車両タイプを設定する」(33ページ))
  - ③ハンドル位置の設定(「ハンドル位置を設定する」(33ページ))
  - ④ドライブレコーダー本体の取付位置の設定(「ドライブレコーダーの取付位置を設定する」(33ページ))
  - ⑤レベリング(取付角度)の調整(「ドライブレコーダーのレベリング(取付角度)を調整する」(34ページ))
  - ⑥検出範囲の設定(「検出範囲を設定する」(34ページ))
  - ⑦顔認識位置の設定(「顔認識位置を設定する」(33ページ))
  - ⑧リアカメラ取付位置の設定(「リアカメラ(別売)の取付位置を設定する」(34ページ))
- 「リアカメラ取付位置の設定」は、リアカメラが接続されている場合のみ行うことができます。
  - 各セットアップ項目は個別に設定できます。

## 撮影範囲を確認する

取り付け設定メニュー画面で[撮影範囲確認]を選択します。

フロントカメラ、インカメラ、リアカメラ(別売)の映り具合を確認できます。

### 設定項目:

撮影範囲確認

## 車両タイプを設定する

取り付け設定メニュー画面で[車両タイプ]を選択します。

運転支援機能の精度を上げるために設定します。本機を取り付けるお車のサイズと形状に最も近い車両タイプを選択してください。

### 設定項目:

車両タイプ

### 設定値:

軽自動車 / 軽自動車(ハイルーフ) / 普通自動車(初期設定値) / 普通自動車(ハイルーフ)

- 軽自動車で全高1500mmを超える場合は「軽自動車(ハイルーフ)」、普通自動車で全高1500mmを超える場合は「普通自動車(ハイルーフ)」を選択してください。

## ハンドル位置を設定する

取り付け設定メニュー画面で[ハンドル位置]を選択します。

運転支援機能の精度を上げるために設定します。本機を取り付けるお車のハンドル位置を選択してください。

### 設定項目:

ハンドル位置

### 設定値:

左ハンドル / 右ハンドル(初期設定値:右ハンドル)

## 顔認識位置を設定する

取り付け設定メニュー画面で[顔認識位置]を選択します。

運転支援機能の精度を上げるために設定します。ドライバーの位置に近いものを選択してください。

### 設定項目:

顔認識位置

### 設定値:

左 / 右(初期設定値:右)

## ドライブレコーダーの取付位置を設定する

取り付け設定メニュー画面で[ドラレコ取付位置]を選択します。

走行車線を正しく検出するために設定します。スライドバーを動かして、本機を取り付けた水平方向の位置を設定してください。

### 設定項目:

ドラレコ取付位置

- ドライブレコーダー本体は、フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内で、ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- 車線逸脱検知が多く検出されるような場合、取付位置を少し外側に(ハンドルに近づけるように)設定すると改善されることがあります。

## ドライブレコーダーのレベリング(取付角度)を調整する

取り付け設定メニュー画面で[レベリング確認]を選択します。

本機の傾きが垂直になるように調整します。画面内の動く円が中央にくるように本機の傾きを調整してください。

### 設定項目:

レベリング確認

- 車を安全で水平な場所に駐車してから調整してください。

## 検出範囲を設定する

取り付け設定メニュー画面で[検出範囲]を選択します。

走行車線を正しく検出するために設定します。地平線の位置と走行車線の中心位置にガイド線を移動して設定してください。

### 設定項目:

検出範囲

## リアカメラ(別売)の取付位置を設定する

取り付け設定メニュー画面で[リアカメラ取付位置]を選択します。

運転支援機能の精度を上げるために設定します。スライドバーを動かし、車内から見てリアカメラ(別売)を取り付けた水平方向の位置を設定してください。

### 設定項目:

リアカメラ取付位置

- 取付位置は、車線全体が映る位置で、地平線がガイド線より上になるように角度を調整してください。
- リアカメラが接続されていない場合、このメニュー項目はグレーアウトで表示され、操作できません。

## その他設定

MENU画面で[その他設定]を選択します。

### ■ その他設定画面



### 設定項目:

- ALPINE CONNECTED VIEWER連携(34ページ)
- ソフトウェア・更新(35ページ)
- SDカードフォーマット(35ページ)
- 管理用パスワード変更(35ページ)
- システム情報(35ページ)
- お知らせ一覧(35ページ)
- お問い合わせ(35ページ)
- 全設定項目初期化(35ページ)
- 全情報初期化(36ページ)

## 専用モバイルアプリ「ALPINE CONNECTED VIEWER」と連携する

その他設定メニュー画面で[ALPINE CONNECTED VIEWER連携]を選択します。

本機は専用モバイルアプリと連携することで、録画映像の再生や駐車場所の確認、本機の設定などが可能になります。Androidスマートフォンの場合はGoogle Playストア、iPhoneの場合はApp Storeで「ALPINE CONNECTED VIEWER」を検索するか、画面に表示されたQRコードから専用アプリをダウンロードしてください。アプリのインストール後は、画面の指示にしたがってアカウントの登録を行ってから、本機をアプリに登録してください。

### 設定項目:

ALPINE CONNECTED VIEWER連携

- 管理用パスワードを入力する必要があります。(初期設定値:00000000)

## ソフトウェアをアップデートする

その他設定メニュー画面で[ソフトウェア・更新]を選択します。

ファームウェアとアプリケーションのバージョン情報が表示されます。

### 設定項目:

ソフトウェア・更新

- [更新] ボタンをタッチして、ファームウェアとアプリケーションを最新バージョンにアップデートできます。
- ファームウェアとアプリケーションのバージョンが最新の場合は[更新] ボタンではなく[最新] ボタンがグレースケールアウトで表示されます。
- アップデートは、エンジンを切った後に行われます。
- 本機が長期間使用されていなかった場合、アップデートは複数回行われる可能性があります。

## SDカードをフォーマットする

その他設定メニュー画面で[SDカードフォーマット]を選択します。

### 設定項目:

SDカードフォーマット

- フォーマットすると元に戻すことはできません。保存されているデータはプロテクト(保護)されているデータも含め、すべて消去されます。

## 管理用パスワードを変更する

その他設定メニュー画面で[管理用パスワード変更]を選択します。

管理用パスワードは、本体設定初期化および専用モバイルアプリとの連携を行う際に入力する必要があります。半角数字9桁で入力します。

(初期設定値:000000000)

### 設定項目:

管理用パスワード変更

## システム情報を表示する

その他設定メニュー画面で[システム情報]を選択します。

### 設定項目:

システム情報

各種システム情報を表示します。

## 本体情報を表示する

システム情報メニュー画面で[本体情報表示]を選択します。

製品シリアルナンバー、IMEI、LTEネットワーク状態などの情報が表示されます。

## SDカード情報を表示する

システム情報メニュー画面で[SDカード情報表示]を選択します。

各録画モードの最大記録可能ファイル数と現在のファイル数を確認できます。

## お知らせ一覧を表示する

その他設定メニュー画面で[お知らせ一覧]を選択します。

サポートデスクの年末年始休業情報などのお知らせを確認できます。

### 設定項目:

お知らせ一覧

- お知らせがない場合、このメニュー項目はグレースケールアウトで表示され、操作できません。

## お問い合わせ情報を表示する

その他設定メニュー画面で[お問い合わせ]を選択します。

ドライブレコーダーに関するお問い合わせ先の電話番号などが表示されます。

### 設定項目:

お問い合わせ

## 本体の設定を初期化する

その他設定メニュー画面で[全設定項目初期化]を選択します。

本体の設定を初期化して工場出荷状態に戻します。

### 設定項目:

全設定項目初期化

- バックアップメモリに保存されている録画映像も消去されます。
- 専用モバイルアプリ「ALPINE CONNECTED VIEWER」との連携やサーバーに保存されている記録映像は消去されません。
- 本体の初期化完了後、再起動します。電源は切らないでください。

## 全ての情報を初期化する

その他設定メニュー画面で[全情報初期化]を選択します。

全ての情報を初期化して工場出荷状態に戻します。

### 設定項目:

全情報初期化

- 管理用パスワードを入力する必要があります。  
(初期設定値:000000000)
- 初期化すると元に戻すことはできません。専用モバイルアプリ「ALPINE CONNECTED VIEWER」との連携情報やサーバーに保存されている録画映像も消去されます。
- LTE通信が不可の場合は実施できません。
- サーバーでの消去は時間がかかる場合があります。
- 本体の初期化完了後、再起動します。電源は切らないでください。

## 専用モバイルアプリ

### 専用モバイルアプリについて

iPhoneまたはAndroidスマートフォンに専用モバイルアプリをインストールすることによって、ドライブレコーダーで録画された映像を再生したり、地図上で走行軌跡やイベント発生地点などを確認したりできません。また、駐車監視録画があったときにメール通知を受信したり、ドライブレコーダーの設定を変更したりすることもできます。

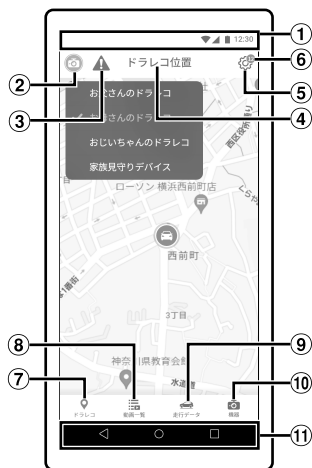
専用モバイルアプリの対応OSは以下のとおりです。

- Android 9以降
- iOS 14以降

### スマートフォンとの接続

専用モバイルアプリのインストールおよび本機との接続は、取付セットアップ時に行う方法と設定メニューから行う方法があります。詳しくは「取付手順」(8ページ)および「専用モバイルアプリ「ALPINE CONNECTED VIEWER」と連携する」(34ページ)を参照してください。

### 専用モバイルアプリの画面メニュー



- ① ステータス/通知バー  
ご使用のiPhoneまたはAndroidスマートフォンと同じアイコンが表示されます。

- ② ドラレコ選択ボタン  
タッチすると、参照可能なドライブレコーダー端末のリストが表示されます。
- ③ 緊急通報アイコン  
緊急通報が行われた場合に表示されます。
- ④ 画面タイトル  
表示中の画面のタイトルが表示されます。
- ⑤ 設定ボタン  
タッチすると、アプリ設定画面が表示されます。アプリ設定画面では、以下の情報の確認やログアウトを行うことができます。
- アカウント情報
  - お知らせ
  - 利用規約
  - 個人情報保護方針
  - ライセンス
  - アプリ情報
- ⑥ 通知アイコン  
未読のお知らせがある場合に表示されます。
- ⑦ ドラレコボタン  
車が走行中(エンジンスイッチがACCまたはON)のときにタッチすると、ドライブレコーダーの現在位置が表示されます。車が駐車中(エンジンスイッチがOFF)のときにタッチすると、エンジンスイッチOFF時の位置情報と静止画が表示されます。
- ⑧ 動画一覧ボタン  
タッチすると、動画一覧画面が表示されます。動画一覧画面では、録画イベントを選択して再生することができます。
- ⑨ 走行データボタン  
タッチすると、走行データ画面が表示されます。走行データ画面では、走行軌跡やイベント発生地点などを確認できます。録画イベントがある場合は、タッチして再生することもできます。
- ⑩ 機器ボタン  
タッチすると、機器画面が表示されます。機器画面では、登録済み機器(ドライブレコーダー)のリストが表示されます。また、ドライブレコーダーの新規登録を行うことができます(新規登録を行ったアカウントは「オーナー」となります)。各登録済み機器名を選択すると、設定画面に移動し、以下のボタンが表示されます。
- 機器の設定ボタン  
- タッチすると、機器の設定画面が表示されます。機器の設定画面では、ドライブレコーダーの設定を行うことができます。各設定項目の詳細については、「本体の設定」(26ページ)を参照してください。
  - 登録機器名の変更ボタン  
- タッチすると、登録機器名を変更することができます。
- 登録アカウント情報ボタン  
- オーナーの場合のみ表示されます。タッチすると、ゲストアカウントの追加、オーナーの変更、アカウントの削除を行うことができます。
  - 機器削除ボタン  
- タッチすると、登録機器を削除することができます。
- ⑪ ナビゲーションバー(Androidのみ)  
Androidスマートフォンをご使用の場合は、ナビゲーションバーが表示されます。
- 画面上部の左端に[<] (戻る) ボタンが表示されている場合は、タッチして前の画面に戻ることができます。

# PC Viewer

## PC Viewerについて

本機で録画した映像や走行データを確認するためのパソコン用ビューアソフトです。

## システム要件

PC Viewerの推奨動作環境は以下のとおりです。

- OS: Windows 10以降(32Bit/64Bit)、macOS 13以降

## PC Viewerのインストール

PC Viewerの最新版ソフトウェアは、アルパインウェブサイト(<https://www.alpine.co.jp/>)からダウンロードできます。

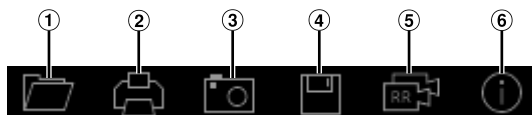
## PC Viewerの画面構成

PC Viewerの画面構成は以下のとおりです。



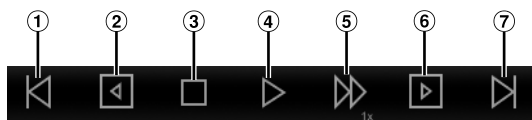
- ① 基本メニューです。詳しくは後述の「PC Viewer基本メニュー」を参照してください。
- ② メイン映像画面とサブ映像画面のカメラ映像を切りかえます。
- ③ 画面を最小化、縮小(縮小時は最大化)、または閉じます。
- ④ サブ映像画面です。メイン画面の映像と同時刻に記録された別カメラの映像を同時再生します。
- ⑤ カレンダーの日付から記録された映像を選択できます。[全部]をクリックすると、カレンダーは非表示になり、再生ファイルリストに全ファイルが表示されます。[カレンダー]をクリックすると、カレンダーが再び表示されます。
- ⑥ 撮影した際のアプリケーションのバージョンが表示されます。
- ⑦ クリックすると、メイン画面に表示された映像の拡大確認画面が表示されます。200%、400%、800%の倍率で指定範囲を拡大して確認することができます。
- ⑧ メイン画面の映像を全画面で表示します。
- ⑨ 再生ファイルリストです。ご希望の録画ファイルをダブルクリックすると、映像が再生されます。リストの上にある[常時]および[イベント]の各チェックボックスを使用して、常時録画ファイルとイベント録画ファイルを表示したり非表示にしたりできます。[▼]をクリックすると、リストに表示するアラートファイルを選択できます。
- ⑩ 3軸Gセンサーデータが波形で表示されます。
- ⑪ 映像操作ボタンです。詳しくは後述の「映像操作ボタン」を参照してください。
- ⑫ クリックすると、地図が表示されます。地図上で走行軌跡やイベント発生地点などを確認できます。
- ⑬ 再生中の映像の走行速度、方位、緯度、経度が表示されます。
- ⑭ 音量の調整やミュートを行うことができます。
- ⑮ タイムバーです。経過時間と合計再生時間が表示されます。タイムバーをクリックしたり丸アイコンをドラッグしたりすることにより、希望の再生時間にジャンプできます。
- ⑯ 再生中の映像の日時、走行速度、緯度、経度が表示されます。
- ⑰ メイン映像画面です。選択したファイルの映像が表示されます。

## ■ PC Viewer基本メニュー



- ① 録画ファイルが含まれるフォルダを指定し、ファイルを読み込みます。
- ② 録画映像を印刷します。日時、走行速度、方位、緯度、経度、Gセンサーデータも印刷されます。印刷するカメラを選択できます。
- ③ 再生中の画面をキャプチャしてjpg形式で保存します。キャプチャを保存するカメラを選択できます。
- ④ 録画ファイルをバックアップします。録画ファイルのカメラ種別(フロントカメラ、リアカメラ、インカメラ)を選択できます。
- ⑤ 再生するカメラを切りかえます。
- ⑥ PC Viewer「ALPINE CONNECTED VIEWER」のバージョンを確認したり、使用言語を英語と日本語から選択したりできます。

## ■ 映像操作ボタン



- ① 前のファイルを再生します。
- ② コマ戻しを行います。
- ③ 再生を停止し、ファイルの頭に戻ります。
- ④ ファイルを再生します。再生中は一時停止ボタンが表示されます。
- ⑤ 再生速度を変更します。  
( $\times 1/4$ 、 $\times 1/2$ 、 $\times 1$ 、 $\times 1.5$ 、 $\times 2$ )
- ⑥ コマ送りを行います。
- ⑦ 次のファイルを再生します。



## ソフトウェアのアップデート

最新のソフトウェアがある場合、本機の画面に通知メッセージが表示されます。画面の指示にしたがってアップデートを行ってください。

- ソフトウェアをアップデートすると、本機の機能や動作が強化されたり、安定性が向上したりします。本機を最適に動作させるには、ソフトウェアを最新の状態に保つ必要があります。
- 手でアップデートする場合は、「ソフトウェアをアップデートする」(35ページ)を参照してください。
- アップデートは、エンジンを切った後に行われます。
- 本機が長期間使用されていない場合、アップデートは複数回行われる可能性があります。
- アップデートされたソフトウェアは、次回起動時に有効になります。

## トラブルシューティング

以下の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。記載された対策を講じても問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口までご相談ください。

### 電源が入らない

- 車のエンジンスイッチがACCまたはONになっていない。
  - 車のエンジンスイッチをACCまたはONにしてください。
- 電源ケーブルが正しく接続されていない。
  - 電源ケーブルの接続を確認してください。

### 音声が聞こえない

- 設定がOFFになっている。または音量が最小値になっている。
  - 設定をONにするか、音量を調整してください。

### 映像が不明瞭またはほとんど見えない

- カメラレンズに保護フィルムが付いたままになっている。
  - 保護フィルムをはがしてください。
- カメラの設置位置に問題がある。
  - カメラの設置位置を確認し、調整してください。

### microSDカードが認識されない

- microSDカード正しく挿入されていない。
  - microSDカードが正しい方向に挿入されているか確認してください。
- SDカードスロットの接触部が損傷している。

- 電源を切ってからmicroSDカードを取り外し、カードスロットの接触部が損傷していないか確認してください。
- 付属のmicroSDカード以外のカードを使用している。
  - 付属のmicroSDカード以外の互換性や動作不良については、一切保証しません。

### 測位衛星信号を受信できない

- 悪天候や高いビルの間等の受信困難な環境で使用している。
  - 受信が良好だった場所で天候の良い日に再度試してください。受信が始まるまで時間がかかる場合があります。

### 録画できない

- microSDカードが入っていない。または非対応のカードを使用している。
  - 付属のmicroSDカードを挿入してください。

### nano SIMカードが挿入されているのに (nano SIMカードなし)が表示される

- 何らかの原因で、nano SIMカードが認識できない。
  - お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口までご相談ください。

## こんなメッセージが表示されたら

以下のエラーメッセージが表示されたら、記載された対策を講じて対処してください。それでも問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口までご相談ください。

### SDカードが挿入されていません

#### SDカードを挿入してください

- SDカードスロットにmicroSDカードが未挿入の状態です。
  - 電源をONにした。
    - 本機でサポートされている付属のmicroSDカードをSDカードスロットに挿入してください。

### 非対応のSDカードです

#### SDカードを確認してください

- 32GB未満または128GBを超える容量のmicroSDカードが挿入されている。
  - 本機でサポートされている付属のmicroSDカードをSDカードスロットに挿入してください。

### プロテクト(保護)した数が多くなりました

#### このファイルのプロテクト(保護)するには最も古いプロテクト(保護)ファイルを削除する必要があります

- プロテクトされたファイルが多いため、新たなファイルを記録できない。
  - 自動で最も古いプロテクト(保護)ファイルを削除するか、手動でファイルのプロテクトを解除してください。手動解除については、「ファイルのプロテクトを解除する」(23ページ)を参照してください。

## SDカードの空きがありません

### 別なSDカードを挿入してください

- microSDカードの容量が不足している。
  - 別のmicroSDカードを使用するか、不要なファイルを削除してください。

## SDカードにアクセスできません

### 別なSDカードを挿入するかSDカードをフォーマットしてください

#### フォーマットしますか？

- microSDカード上のファイルが認識できない。
  - 本機の電源を入れ直してください。
  - 本機の電源を切って、microSDカードを入れ直してください。
  - microSDカードの端子の汚れを取り除いてください。
- 上記の対策を行っても同じメッセージが表示される場合は、[[はい]]をタッチしてmicroSDカードをフォーマットしてください。別売のリアカメラ未接続時はフロントカメラ・インカメラの2カメラ映像保存用フォーマットが行われ、リアカメラ接続時はフロントカメラ・インカメラ・リアカメラの3カメラ映像保存用フォーマットが行われます。
- フォーマットしても改善しない場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。
- 認識できないmicroSDカードが挿入されている。
  - 本機でサポートされている付属のmicroSDカードをSDカードスロットに挿入してください。

## SDカードがフォーマットされていません

### 録画を行うにはSDカードのフォーマットが必要です。フォーマットしますか？

- フォーマットされていないmicroSDカードが挿入されている。
  - [[はい]]をタッチしてmicroSDカードをフォーマットしてください。別売のリアカメラ未接続時はフロントカメラ・インカメラの2カメラ映像保存用フォーマットが行われ、リアカメラ接続時はフロントカメラ・インカメラ・リアカメラの3カメラ映像保存用フォーマットが行われます。

## SDカードにリアカメラの録画領域を確保するため

### フォーマットが必要です

#### フォーマットしますか？

### フォーマットを行うと、保存されているデータはすべて消去されます

#### プロテクト(保護)されているデータも消去されます

- リアカメラが接続されているが、microSDカードにリアカメラ映像の保存領域がない。
  - [[はい]]をタッチしてmicroSDカードをフォーマットしてください。フォーマットするまでリアカメラの録画は行われません。

## SDカードからリアカメラ録画領域を解放し常時録画領域を増やします

### フォーマットしますか？

### フォーマットを行うと、保存されているデータはすべて消去されます

#### プロテクト(保護)されているデータも消去されます

- リアカメラが未接続だが、microSDカードにリアカメラ映像の保存領域がある。
  - [[はい]]をタッチしてmicroSDカードをフォーマットしてください。フォーマットするまでリアカメラの録画領域は解放されません。

## ネットワーク不良のため動画の自動アップロードに失敗しました

### 時間をあけてから手動でアップロードを行ってください

- ネットワーク環境が悪い場所で駐車・走行している。
  - ネットワーク環境が良好で安全な場所に駐車してから手動でアップロードを行ってください。詳しくは「ファイルを手動でサーバーにアップロードする」(23ページ)を参照してください。

## GPSが見つかりませんでした

- 悪天候や高いビルの間等の受信困難な環境で使用している。
  - 受信が良好だった場所で天候の良い日に再度試してください。受信が始まるまで時間がかかる場合があります。

## SIMカードエラー

### SIMカードの抜き差しを行ってください

#### それでもエラーが解消しない場合

#### 下記の電話番号までご連絡ください

#### 0570-006636

- 何らかの原因で、nano SIMカードが認識できない。
  - nano SIMカードの抜き差しを行ってください。
  - nano SIMカードの抜き差しを行っても同じメッセージが表示される場合は、画面に表示された電話番号にご連絡ください。

## システムエラー

### 下記の電話番号までご連絡ください

#### 0570-006636

- 何らかの原因で、正常な動作ができなくなった。
  - 本機の電源を入れ直してください。
  - 本機の電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、画面に表示された電話番号にご連絡ください。

## 内蔵バッテリーエラー

### 下記の電話番号までご連絡ください

#### 0570-006636

- 何らかの原因で内蔵バッテリーに問題が発生した。
  - 画面に表示された電話番号にご連絡ください。

以下のメッセージは音声のみが再生され、画面には表示されません。

### ドライブレコーダーのバッテリー残量が少なくなっています

- 内蔵電池の充電が不足しているか、内蔵電池が劣化している。
  - 本機を正しく接続した状態で、車のエンジンスイッチをACCまたはONにして、充分に充電を行ってください。
  - 充分に充電しても使用できる時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の劣化が考えられます。内蔵電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。内蔵電池の交換が必要になりましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

### 高温のため、安全運転支援機能を停止します。各機能は温度低下後に、動作を再開します

- 本機の温度上昇による故障を防止するため、安全運転支援機能の停止が行われた。
  - 車内の温度を下げてください。

### 高温のため、モニター表示、車内監視を停止します。各機能は温度低下後に、動作を再開します

- 本機の温度上昇による故障を防止するため、モニター画面の消灯と車内監視の停止が行われた。
  - 車内の温度を下げてください。モニター画面消灯中も常時録画は継続しています。

## 仕様

### ドライブレコーダー本体

画面サイズ	3.0型 フルカラー TFT液晶
動作温度範囲	-20℃ ~ +60℃
外形寸法(W×H×D)	104mm×60mm×56mm
質量(重さ)	275g(microSDカード含む。取付ブラケット、ケーブル含まず)
電源電圧	DC 14.4V(動作範囲:11V ~ 16V)マイナスアース
Gセンサー	-8G ~ +8G
測位衛星	内蔵(GPS対応、GLONASS(グロナス)対応、QZSS(みちびき)対応)
記録メディア	microSDHC/SDXCカード (32GB ~ 128GB対応、Class 10推奨)
内蔵バッテリー	リン酸鉄リチウムイオン電池 (DC 3.2V 1700mAh)

LTE

WLAN  
Bluetooth

4G LTE(B1、B3、B19 Docomo 対応)  
IEEE802.11 b/g/n(2.4GHz)  
Bluetooth v5.1 (Bluetooth Low Energy(BLE))

### カメラ

フロントカメラ  
レンズ  
映像素子

F値:2.2  
1/3型カラー CMOS  
有効画素数:約400万 pixel  
水平:約183度×垂直:約91度

最大記録画角  
インカメラ  
レンズ  
映像素子

F値:2.2  
1/2.7型カラー CMOS  
有効画素数:約200万 pixel  
水平:約181度×垂直:約97度

最大記録画角

### 映像

記録解像度

フロントカメラ  
インカメラ

WideQHD(2560×1440)  
Full HD(1920×1080)

フレームレート

フロントカメラ  
インカメラ

15.5/27.5fps  
15.5fps

録画フォーマット

動画

MP4(映像:MPEG-4 AVC/H.264  
音声:AAC)  
JPEG

静止画

WDR

フロントカメラ  
インカメラ

あり  
なし

録画モード

常時/イベント/手動/駐車監視/  
あおり運転録画

記録ファイル単位

1分(常時/手動/駐車監視/あおり  
運転録画)/15秒(イベント録  
画)

記録映像再生方法

ドライブレコーダー本体液晶、  
PC Viewer、専用モバイルアプ  
リ

音声記録

ON / OFF可能

- 仕様および外観は改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは撮影・印刷条件により実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

## お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談/お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

(2023年4月現在)

### < 製品ご相談窓口 >

#### お問い合わせはインフォメーションセンターへ

< 電話でのお問い合わせ >

TEL: 0570-006636

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。(携帯電話・PHS: 20秒10円)

※ 一部IP電話など接続できない場合には、次の番号をご利用ください。03-6704-4926または03-6747-4221



< メールでのお問い合わせ >

ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。



< FAXでのお問い合わせ >

FAX: 045-522-8700

< LINEでのお問い合わせ >

「友だち追加」から友だち追加できます。

※ LINEアカウントをお持ちでない場合には、LINE会員登録が必要になります。



- 電話受付時間(土、日、祝日、弊社休業日を除く)  
月～金: 9:30～17:30
- アルパインホームページ <https://www.alpine.co.jp>  
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

### < 修理ご相談窓口 >

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス (株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス (株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0044 大阪府吹田市南金田1-5-7	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県